

No. 1

' 23彦青発第64号
2023. 6. 16

公益社団法人 彦根青年会議所
2023年度 理事会構成メンバー各位

公益社団法人 彦根青年会議所
理事長 橋本 幾



2023年度第8回理事会のご案内

拝啓 梅雨の候、貴殿におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、公益社団法人彦根青年会議所2023年度第8回理事会を下記の要項にて開催いたします。時節柄ご多用のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時 2023年 6月23日 (金) 19:00～23:00
場 所 文教スタヂオ 5F

- 議事日程
1. 開会
 1. 点鐘
 1. JC宣言文朗読並びに綱領唱和
 1. LOMスローガン唱和
 1. 出席調査
 1. 議長選出
 1. 定足数の確認
 1. オブザーバーの承認
 1. 議事録作成人の指名
 1. 2023年度第7回理事会議事録の承認
 1. 理事長報告
 1. 専務理事会務報告
 1. 副理事長報告
 1. 資料の確認
 1. 報告事項
 1. 議題の採択

1. 審議事項

1号議案 4月度例会～さあやるぞ！我らの70周年！！～開催の件

2号議案 新入会会員承認の件

3号議案 仮入会会員承認の件

4号議案 2023年度滋賀ブロック大会守山大会全員登録

5号議案 8月度臨時総会例会～組織の在り方を考えよう！

～開催の件

6号議案 滋賀ブロック協議会褒賞申請の件

1. 依頼事項

1. 監事講評

1. 閉会・点鐘

配布資料

No. 1 2023年度第8回理事会のご案内

No. 2 2023年度第7回理事会議事録

No. 3 4月度例会～さあやるぞ！我らの70周年！！

No. 4 新入会会員承認

No. 5 仮入会会員承認

No. 6 2023年度滋賀ブロック大会守山大会全員登録

No. 7 8月度臨時総会例会～組織の在り方を考えよう！～開催

No. 8 滋賀ブロック協議会褒賞申請

以上

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 第7回理事会議事録

理事長 橋本 一幾  議事録作成人 事務局 

日時 2023年 5月23日(火) 19:00 ~ 20:29

場所 文教スタジオ5F

出席状況

出席：○ 遅刻：△ 途中退席：▽ 欠席：×

理事	橋本 一幾	○	大野 勝輝	○	澤井 雄一	○	飛松 龍	○
	西川 隼世	○	夏原 大輝	○	青木 克実	×	北川 凌	○
	北村 忠征	×	園 一生	×	車 宝超	×	中西 雄也	○
	夏原 慶	○	藤井 肇	×	上田 一八	○		
	出席理事 以上10名							
監事	木田 乃輔	×	宮川 佳典	○	出席監事 以上1名			
直前理事長	横津 優騎	×						
委員長	澤田 晃仁	○	丸山 義樹	○	西村 直人	○		
会計	西村 健太郎	×						
セクレタリー	北川 凌	重	清水 翔太	×	出席非理事 以上4名			

1. 開会宣言・点鐘 理事長 橋本 一幾 君
1. 出席調査 事務局長 上田 一八 君
1. 議長選出 定款第47条により、理事長が 西川 隼世 君を指名した。
1. 定足数の確認 理事定数15名、出席理事数10名、定足数10名
定款第48条の規定により本理事会は成立した。
1. オブザーバーの承認 なし
1. 議事録作成人の指名 議事録作成人 事務局
議事録署名人 橋本 一幾 君 木田 乃輔 君 宮川 佳典 君

1. 理事長報告

橋本 理事長

皆様、こんばんは。まずは19時の定刻にお集まりいただきましてありがとうございます。また、上田事務局長をはじめとされます、事務局メンバーの皆様ご設営ありがとうございます。理事長報告ですが、会員会議所がありました。その後に丸山委員長長の5月度例会がありました。参加人数が22人、両監事が来られていなかったのが非常に寂しかったですが、内容的には楽しい例会で僕は好きな例会だと発言していたと思います。その様な内容にしていいただきまして、GW中ではありましたが、皆様参加していただきましてメンバー間の絆が深まったのではないかと例会に参加して思いました。お疲れ様でございました。その次に総会がありました。澤田委員長お疲れ様でございました。選考委員会の委員会メンバーを決めるという内容と、周年事業の積立金切り崩しという2議案でした。選考委員会が決まり後日選考委員会の面談がありました。中西委員長にスムーズな進行をしていただきまして、滞りなく全て終わりました。今後、どの様になるのかは中西委員長に決めていただくということになります。次年度の足音が聞こえたなというのと同時に寂しい気持ちが少しありました。16日には勇士会という理事長連の集まりがありました。18日は彦根ロータリーさんの70周年の周年の例会と祝賀会がエクシブ琵琶湖米原で参加させていただきました。その中で先輩の細江さんが今年の周年の会長をしておられました。姉妹ロータリーを結んでいるということで、高松ロータリーさんも来られていました。その時に高松さんは19人程参加されていたのが、僕は凄いなと感じました。僕たちは彦根青年会議所として高松青年会議所の新年例会に4人で参加しましたが、7月に高松青年会議所は何人来てくださるか分かりませんが、周年の式典に19人も来ておられて高松ロータリーさんはLOMとして凄く纏まっているなと感じました。聞いた話ですが高松のロータリーさんは彦根に4日間おられ、この地を堪能しておられました。写生大会にも高松ロータリーさんの一人が来られていたという話も聞いたので、彦根の魅力を高松さんには伝えられたのではないかと感じました。彦根ロータリーの周年式典では来賓の立場で一番前の席に座らせていただきました。商工会議所の副会頭や、他のロータリーの副会長などの多くの方々と会話出来る機会があり非常に良かったです。その様な方々と会話するということは理事長という職を担っていないとなかなかないと感じましたので、皆様には積極的に役職は受けていただいて、外に出させていただきたいと感じました。その次の日は70周年の周年誌に載せる麻生会頭との対談ということで、専務と実行委員長と

横津直前理事長の4人で東京のJC会館に行ってきました。その時も「JC会館に来ることはもうないかもしれませんね」と言いながら4人で行ってきました。現在のJC会館を見てきましたが、建物やエレベーターなど老朽化が進んでいて耐震があまり良くないということで立て直されるということを知っています。その後に会頭と対談した中で、今後の展望について喋っていましたが、その中で「僕は周年がゴールではなくて、今年から80周年に向けた年にしたいです」ということを会頭にお約束をしてきました。彦根青年会議所の存在意義を周年で発信したいと思っていますので、80周年まで繋がる様な周年事業、記念式典にしていきたいと考えております。本日の理事会の議案の中で周年に関する議案が審議と協議で1個ずつ挙がってきます。ここに居る皆様は僕より長い年数残られると思いますので、皆様自分自身のことだと思って、周年の議案には是非意見をさせていただきたいと思います。後、澤田委員長の報告議案もあります。本日は審議事項3件と協議事項1件と4件ありますので、皆様にしっかりと審議いただきまして80周年に繋がる様なお時間にしていただければと思います。それでは本日もどうぞよろしくお願い致します。

1. 会務報告

夏原 専務理事

本日第7回理事会にお集まりいただき誠にありがとうございます。会務報告、委員会報告につきましては本日、上田事務局長の方より配信をさせていただいております。また、理事会資料ですが、直前となりますが差し替えさせていただきました。大変遅くなり申し訳ございません。本日もよろしくお願い致します。

1. 副理事長報告

大野 副理事長

先日の写生大会にご参加いただきましたメンバーの皆様ありがとうございます。後程、西村委員長から詳しい説明はあるかと思いますが、今後の予定としまして作品審査や作品展示、表彰式等ありますので、皆様今後ともご協力よろしくお願い致します。

澤井 副理事長

本日7月度例会そして運動指針、協議として周年誌の件を上程させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

西川 副理事長

私からは拡大についてです。今回の5月の理事会、次回6月の理事会が周年に仮入会会員を連れて行ける最後のチャンスだと思いますので、委員長の皆様、最低一人でも入会者を出せる様に頑張ってくださいと思います。僕も動きますので皆様も拡大をよろしくお願い致します。

1. 資料の確認

上田 事務局長

資料に関しましてはメールにて配信しております。先程夏原専務よりご連絡がありました通り、資料の差し替えを行っておりますのでご確認よろしくお願ひ致します。

○事前資料

配布資料

- | | |
|-------|---|
| No. 1 | 2023年度第7回理事会のご案内 |
| No. 2 | 2023年度第6回理事会議事録 |
| No. 3 | 3月度例会～組織の魅力を伝えよう！
みんなで目指そう PR マスター！～開催 |
| No. 4 | 7月度例会～挑戦 進化 唯一無二のひこねを！
～開催 |
| No. 5 | 彦根青年会議所運動指針内容 |
| No. 6 | 70周年記念誌内容 |

1. 審議事項

1号議案 3月度例会～組織の魅力を伝えよう！

みんなで目指そう PR マスター！～開催

(補足説明) 澤田 総務広報委員長

3月度例会ですが、終了時刻が30分程早くなってしまいました。スライドを使用した説明の部分が計画時に想定していたよりも短い時間で進んだというところが主な要因ですが、こちらを委員会の方でリハーサル等々を入念にしていれば、皆様の貴重な時間をもっと有効に使うことが出来たのではないかと考えております。次回以降その様な部分にも気をつけていきたいと考えております。

(質問) 中西 理事

例会前からメンバーの Instagram や Twitter など登録のために PR など各委員会を周られて呼びかけされたと思いますが、この例会の開催を通して Facebook、Instagram、Twitter の登録数の増えなどはご確認いただいておりますでしょうか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

数字は把握出来ていませんが、参加していただいた方につきましては Twitter の方まで登録していただけたことは確認出来ております。参加いただけていないメンバーにつきましては確認出来ていません。

(意見) 中西 理事

例会の内容では SNS などの適切な使い方という内容だったと思いますが、今年1年を通して例会欠席されたメンバーも含めて全員出来るだけ登録していただいて、PR に活用していただける様に委員会で取り組んでいただきたいです。

(質問) 中西 理事

SNS の投稿についてのアンケートで「投稿が出来るようになったと思いますか」という問5で、出来ないと答えているメンバーも少なからずいたと思いますが、その中の考察で「繰り返し投稿の機会を設けることが必要である。」と書かれています。メンバーに積極的に投稿する様に呼びかけていく工夫などはありますでしょうか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

こちらの意味合いとしては、その様な機会を設けないと発信していく様なことは少ないと思いますので、今後のその様な機会を設けたいと考えています。例えば次年度への引継事項などにも書いていることも含めて、その様なことも今後もやっていく必要があるのかと思ひまして考察に書いています。

(質問) 中西 理事

次年度ではなくて、澤田委員長として考えていることがあれば教えて下さい。

(応答) 澤田 総務広報委員長

アンケートの結果の部分で投稿となりますとプライベートの投稿をされている場所で、JC のことを投稿するという事ではハードルが高くなりますので入り口は「いいね」してもらうことや、シェアをしていただくところからしていただく様に考えています。月報などの時は「いいね」して下さいとは言っていますが、今後はシェアなどもしていただける様に声掛けをしていこうと思ひます。

(質問) 北川 理事

開催目的の実現と成果で「メンバーが投稿を行った後、投稿

内容を全体で共有し、投稿したメンバー数名に工夫したポイントを説明して」と記載されていますが、これを纏めた物などはありませんか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

それだけで纏めてはいませんが、参考資料-4のところで、実際の投稿内容を載せています。共有した内容につきましてはその場で共有させていただきました。書面はありません。

(質問) 北川 理事

副題にも組織の魅力を伝えると書いてありますので、その様な物を纏めて他のメンバーが報告議案を見て再認識出来るような物があれば3月例会の報告議案が良くなると思います。何か追加で添付出来るの良いと思いますのでお願いします。

(応答) 澤田 総務広報委員長

元々の流れでは、その場で共有する形でやっていたので、実際に紙資料にするというのではないかもしれませんが、今後の発信の中でやっていきたいと思います。

(質問) 北川 理事

参考資料-3の欠席理由ヒアリング結果ですが、これは総会の報告議案には書いていますが、例会には書いていないと思います。もしこの資料を付けるのであれば他の例会でも付けないといけないと思うのですがいかがでしょうか。

(応答) 澤田 総務広報委員長

付けないといけないという認識でいました。

(応答) 夏原 専務理事

私も例会に全部この資料が付いていたかという記憶はありませんが、今回の議案につきましては欠席理由を調べたということで、澤田委員長の行動としては悪くないと思います。今後につきましては過去の資料を調べて執行部にて決めさせていただきたいと思います。

(決定) 全会一致をもって承認

2号議案 7月度例会～挑戦 進化 唯一無二のひこねを！～開催

(資料訂正) 澤井 70周年実行特別委員長

1ページ 上程スケジュール

(誤) 第26回 執行部会 2023年 5月19日 協議

(正) 第26回 執行部会 2023年 4月19日 協議

(誤) 第07回 理事会 2023年 5月23日 審議

(正) 第 7回 理事会 2023年 5月23日 審議

(補足説明) 澤井 70周年実行特別委員長

7月度例会では式典会場でもあるプロシードアリーナ彦根の多目的ホールで、リハーサル例会として開催し、メンバーの意識を高揚させ、全員で創り上げる周年事業に繋がりたいと考えております。

(質問) 上田 理事

本年度工夫と期待される効果の一番下の部分に「シュプレヒコールを行う」と書いてありますが、このシュプレヒコールというのは「挑戦、進化、唯一無二の彦根を」というものでよろしかったでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

そうですね。「挑戦、進化、唯一無二の彦根を」のシュプレヒコールをしたいと考えております。

(意見) 上田 理事

1月新年交流例会と4月例会でもこのシュプレヒコールを行ったと思うのですが、これがシュプレヒコールだと理解していないメンバーが少しいる様に感じました。一斉に声の合うシュプレヒコールだとは思いませんでしたので、もし良ければ練習する時間もあると良いと思います。

(質問) 上田 理事

リハーサル例会ということで、式典当日のリハーサルが主な内容になっていると思うのですが、この例会以外でリハーサルをされる予定はありますでしょうか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

部会事にそれぞれしていただくとは考えております。また、委員会訪問などで部会長から説明をしていただくと考えております。

(質問) 上田 理事

会場を使ったリハーサルというのは、この例会だけでよろしかったですか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

会場を使った本番さながらのリハーサルはこの日だけになります。

(意見) 上田 理事

機材を使うなどあると思いますので、この一回で全員がしっかりと把握出来るようにご設営いただければと思います。

(質問) 北川 理事

例会の日は記念式典の会場を使つてのリハーサルということで、リハーサルでは記念式典で使う椅子などを全て並べた状態でリハーサルをするということによろしかったですか。

(応答) 澤井 70周年実行特別委員長

この日は昼頃から会場を抑えていますので、メンバーの皆様にご協力していただき、準備からしていきたいと考えております。それが終わってからの19時から例会を始めたいと考えております。

(意見) 北川 理事

本番当日、僕は誘導係ですのでしっかりとリハーサルしたいと思います。

(決定) 全会一致をもって承認

3号議案 彦根青年会議所運動指針内容

(補足説明) 澤井 70周年実行特別委員長

前回の御意見を反映致しまして、より細かく作り直しました。

(意見) 中西 理事

議案の最後に付いている図があるのですが、多分周年誌にも付けるかと思えます。各カテゴリーのバランスや、シンボルである彦根城も書いてありますが、僕はこの図だと分かりにくいと感じますので、周年誌で差し替えが出来るのであればもう少し分かりやすくしていただきたいです。

(決定) 全会一致をもって承認

1. 協議事項

1号議案 70周年記念誌内容

(補足説明) 澤井 実行特別委員長

まず表紙ですが、今はロゴだけの表紙になっていますが、今イメージしているのは玄宮園からの彦根城をイメージしています。そして式典の式次第がきまして、Creed、挨拶文、会頭対談、1953年から2012年までの歩みページになります。60ページから61ページは活動写真を掲載したいと考えております。62ページ以降は役職名簿と共にスローガン主に、対外向けの年間事業を掲載したいと考えております。そして、92ページから93ページが2013年から2020年の活動写真をカラーで掲載したいと思っています。94ページ以降はスローガンと組織図、年間事業を掲載したいと考えております。年間事業が1月から12月の例会と副題と共に掲載したいと考えております。イメージですが、議案で言いますと102ページの2021年のイメージで2013年からやりたいと考えております。そして、運動指針のページが4ページありまして、現役メンバーの紹介、最後のページが実行委員長と部会長の挨拶がくる様になっております。

(質問) 北川 理事

議案の最後のページにJCIマークはありますが、HIKONEは入れられますか。

(応答) 澤井 実行特別委員長

入れた方が良くと思いますので入れます。

(質問) 澤田 総務広報委員長

運動指針の57ページの部分で番号がバラバラで並んでいないデザインですが、普通に見ると1, 7, 2, 10, 5と見にくいと感じますが、あえてこの様な配置にしたのでしょうか。

(応答) 澤井 実行特別委員長

SDGsの図をイメージして作りました。

(意見) 澤田 総務広報委員長

番号が書いてあると、読むときに目の行き場に困るので、番号を無しにするか、番号を揃えるのかどちらかをした方が良いのかと思います。

1. 依頼事項

夏原 専務理事

本日、第7回理事会にお集まりいただき誠にありがとうございました。次回理事会に関しましてですが、6月23日金曜日19時から文教スタジオで開催させていただきます。23日となりますと周年事業まで2週間前になりますので、非常にバタバタとした中となりますが、皆様ご参加の程よろしくお願い致します。

澤田 総務広報委員長

3月度例会の報告の承認いただきましてありがとうございます。また、SNSの方も総務広報委員会としても積極的に情報発信して行きたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。また、6月9日金曜日に臨時総会がございます。皆様ご参加の程よろしくお願い致します。

丸山 組織の輪確立委員長

5月度例会に参加いただきました皆様誠にありがとうございます。GW中というお時間を作りにくい日程でしたが、多くのメンバーに参加していただきまして本当に嬉しく思います。ただ、不備もある設営だったと思っておりますので、委員会で検証をしまして、7月の理事会にて上程させていただきますのでよろしく申し上げます。

西村 地域共創委員長

先日の写生大会にご参加いただきありがとうございます。写生大会は終わりましたが、6月25日に表彰式がございます。こちらの方も皆様ご協力の程よろしく申し上げます。

澤井 副理事長

本日7月度例会と運動指針の審議可決をしていただきましてありがとうございます。周年まで残り45日となりました。現状は招待状の発送準備や動画の作成を行っている段階でございます。6月の2週目には出欠確認も出来ると思っておりますので、席の配置やシナリオ等も仕上げて行きたいと思っておりますので、引き続きご協力をよろしくお願い致します。

夏原 財政規則特別委員会 副委員長

6月6日に財政規則特別会議の議長をお呼びして講演をしていただきます。内容としましてはJCのコンプライアンスやJCプロトコルについて講演していただくと共に理事長と議長に格付けチェックとしまして、身だしなみやJCに対する姿

勢などをチェックしていただきます。議長の方に来ていただきますので、恥ずかしくないようにして参加していただきたいと思っております。よろしくお願い致します。そして、式典部会長としてですが、ムービーの確認などしていただきたいと思っております。撮影の方が連日天候不良により大幅に計画がずれております。今週末にも撮影して順次作成して行き、理事構成メンバーにもチェックをしていただき、意見などいただきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

中西 懇親部会長

懇親会当日にムービーとして流させていただきますソーラン節に関しまして、一部動画撮影で流させていただく予定をしております。6月11日、日曜日の午前、予備日で6月18日、日曜日午前で今のところ業者の方に撮っていただく形で進めております。参加人数や天候の都合もあると思っておりますが、ご参加の程よろしくお願い致します。

1. 監事講評

官川 監事

改めましてこんばんは。澤田委員長、3月度例会報告議案の上程お疲れさまでした。SNSについての理解を深め、メンバー一人ひとりが青年会議所のインフルエンサーとなる取り組みは、本年度総務広報委員会が方針を達成する上で重要な例会となったように感じています。報告議案として必要な事柄、考察も含めてしっかり記載していただいておりますので、スムーズな報告となったのではないかと思います。以前にも意見しましたが、結局のところ大事となるのは本例会の効果や成果がこれからの運動、活動にどのように活きるのか。例会の報告が審議可決されたからこれで終わり、ではなくこの学びが活きる取り組みを今後も続けていただきたいと感じました。澤井委員長、計画議案の上程お疲れさまでした。周年事業のリハーサル例会という内容になりました。祝賀会の前日という日程ですが、祝賀会はもちろん式典においても、この例会の日を最終確認の場として、全てのメンバーが自らの役割や行動をしっかり把握した上でこの例会の日を迎えて欲しいと思っております。実際に当日の流れをトレースしながらリハーサルを進めていくと、得てして問題が浮かび上がるものです。会場の利用時間が21時半までと限りがあります。例会当日までの各部会の取り組みに期待いたします。続けて澤井委員長、運動指針の上程お疲れさまでした。諸事情によりあまりこの議案については深掘りしませんが、とにかくこの図はあまり意味がないというのが率直な意見です。「つながる」「つなげる」というのが今回の運動指針

の肝になるのではないかと感じています。人をつなぐ、まちをつなぐ、経済をつなぐ、組織をつなぐ、この4つのワードは必ず図に何らかの形で入れるべきだと思います。また、各ターゲットの順番がランダムになっているのも何の意味があるのかわかりません。内容についての講評はここで留めておきます。運動指針において重要なことは、この自分達の作り上げた未来への指針を、対外にどのようにわかりやすく説明するのかということです。確かに私たちが進むべき道を示したものであることは間違いありませんが、それと同時にJCI彦根が未来に向けてどのような運動を起こそうとしているのか、関係諸団体に明確なイメージを植え付けることが大切だと思います。JCI彦根はこういう運動を起こそうとしている、そうであるなら私の団体はJCIとこういう風に関わるんじゃないか、そんなイメージをしてもらうことが大切だと思います。これをどのように活かすか。運動指針においても、作ったことに満足せず、更なる波及効果を生み出すように考えていただきたいと感じます。澤井委員長、三連続の上程お疲れさまでした。業者の都合もあり、本日は不完全な形での協議となりましたが、最低限の周年誌のイメージは湧く内容であったと思います。大切なことは必要な情報が適切に記載されていることだと考えます。今後の公正作業が非常に重要であり、また、少数の目で確認しきれるものではありません。今後のスケジュールを明確にし、皆で内容をしっかり確認できる時間を取っていただきたいと思います。まとめに入りますが、今回は外向きの視点を持つことの重要性について再確認したいと思います。私たちは何のためにJCIの運動や活動に取り組んでいるのか。70周年という機会ですのでこれまでの10年を振り返りたいと思いますが、誤解を恐れず言うならばJCI彦根の60年代は足元を固めることを重視していたように感じます。それは会員の減少が最も大きな要因ですが、それに加えて新型コロナウイルスの影響により外向きの事業が展開しづらい時期であったことも理由となります。一步間違えれば組織として成り立たなくなる地方JCIが増えつつある中で、ガバメントに重きを置いて、自らの足元を固め、盤石な組織体制を築くことが決して間違いだとは言いません。しかし、我々が住み暮らす地域に明るい豊かな社会を形成しようとしている団体が、内向きの活動を重視し始めると、それは本末転倒でJCIの魅力は激減していくように感じています。市民からの共感も得られないように感じています。結果、足元を強固なものとする取り組みの過程が、組織の弱体化を招く結果となる。極端な話に聞こえるかもしれませんが、そのような10年と言っても過言ではないと考えています。それはJCI彦根だけでなく、そもそも日本におけるJCIの多く

がそうであったのではないかと感じます。視点を変えることが組織の変化を生み出します。私たちは何をすべきなのか、社会を変える、地域から必要とされ評価される運動とは何か。そのようなことを考えることにおいて、周年は絶好の機会です。運動指針を他人事のように見るのではなく、これが自らの道標だとしてしっかり認識をして、共に考えていただきたいと切に願っています。簡単ではありますが監事講評といたします。お疲れさまでした。

1. 閉会宣言・点鐘

事務局 長 上田 一八 君

理事 長 橋本 一幾 君

理事 長 橋本 一幾



監 事 木田 乃輔



監 事 宮川 佳典



公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業報告書

第8回理事会1号議案

議案名 : 4月度例会～さあやるぞ！我らの70周年！！～開催

提案者 : 70周年実行特別委員会

作成者 : 澤井 雄一

上程月日 : 2023年 6月23日

目次	上程スケジュール
事業報告書(1) ページ～(3) ページ	第28回執行部会 2023年 5月17日 協議
収支決算書(4) ページ	第29回執行部会 2023年 5月25日 協議
添付資料(5) ページ～(24) ページ	第13回財政規則特別委員会 2023年 6月 1日 審査
最終ページ(24) ページ	第30回執行部会 2023年 6月 7日 審議
	第8回理事会 2023年 6月23日 審議

1. [事業計画提案名]

4月度例会～さあやるぞ！我らの70周年！！～開催の件

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

彦根青年会議所が記念式典、祝賀懇親会など、70周年を成功に導くためには、メンバー一人ひとりが当事者意識を高め、自発的に行動する必要があると考えます。

本例会では、メンバーが周年への理解を改めて深め、メンバー一人ひとりが役割を認識するとともに、参画意識を高め一丸となることにより、輝かしい創立70周年事業を開催する一助になると考えます。

5. [事業報告の概要・推進方法]

①(実施日時) 2023年 4月 6日(木) 19:00～20:44

②(実施場所・会場) 株式会社文教スタジオ 5F会場

住所：彦根市佐和町6-15

電話：0749-22-7681

③(決算額) 10,000円

※詳細は別紙[様式：報-2-1～3]事業収支決算書参照

④(外部協力者) なし

⑤(対象者) 47名(正会員30名、仮入会会員15名、外部監事2名)

⑥(参加人数) 25名(正会員20名、仮入会会員 3名、外部監事2名)

⑦(事業推進状況)

2023年 2月25日 会場正式予約

2月28日 第1回合同部会開催

3月 1日	例会資料作成開始	
3月 6日	3月度例会にてPR	
3月16日	総務広報委員会及び委員長連絡会議にてPR	
3月22日	出欠確認実施	
4月 3日	組織の輪確立委員会へ委員会訪問にてPR	
4月 4日	地域共創委員会へ委員会訪問にてPR	
4月 6日	4月度例会～さあやるぞ！我らの70周年！！～開催	
1. 受付開始		18:30
1. 開会宣言・点鐘		19:00
1. 国歌斉唱		19:01
1. JCソング斉唱		19:03
1. JCI Creed唱和		19:05
1. JCI Mission並びにJCI Vision唱和		19:06
1. JC宣言文朗読並びに綱領・LOMスローガン唱		19:07
1. 理事長挨拶		19:08
1. 会務報告		19:13
1. 委員会報告		19:15
1. 出向報告		19:23
1. 委員会タイム		19:21
1. 趣旨説明		19:21
1. おもてなしの心		19:23
1. メンバーの役割		19:39
1. 部会プレゼンテーション		19:44
1. 運動指針提案		20:27
1. おもてなしシート作成		20:32
1. 決意表明		20:44
1. 終了		21:04
1. 監事所感		21:05
1. 若い我ら斉唱		21:11
1. 閉会宣言・点鐘		21:13
1. 終了		21:13
4月 7日	メーリングリストにてメンバーに御礼メール	
4月20日	事業報告作成開始	
6月23日	理事会にて事業報告上程	

6. [開催目的の実現と成果]

- ・本例会を開催し、彦根青年会議所創立70周年への理解を深めたとともに、記念式典や祝賀会が目前に迫っている事を改めてメンバーが認識したことにより、参画意識を改めて向上させ、一致団結して取り組む体制を整える一助になったと考えます。
- ・おもてなしの心を理事長からお話ししてもらったことにより、おもてなしの大切さを改めてメンバーが認識できたとともに、おもてなし精神をもって周年事業を迎える一助になったと考えます。
- ・祝賀懇親会、並びに式典のメンバー個々の役割を発表し、自らの役割を把握しながらその後のプレゼンテーションを聞いていただいたことにより、事業当日の流れをより深く理解していただき、周年事業の設営をスムーズに推し進める一助になったと考えます。
- ・プレゼンテーションにおいて、彦根青年会議所創立60周年のDVDを視聴していただいたことにより、周年を経験していないメンバーに対して祝賀懇親会、並びに式典のイメージを持てただけたとともに、メンバー一人ひとりの役割を具体的に把握していただく一助になったと考えます。
- ・式典部会、懇親部会からプレゼンテーションとして、進捗業況や当日の流れをお話ししたことにより、メンバーに事業内容を改めて周知できたとともに、来たる周年に向け今一度メンバーが一致団結する契機になったと考えます。

- ・委員会タイムにて新たな運動指針を提案したことにより、70周年以降の彦根青年会議所を支えるメンバーに今後の運動・活動の方向性を伝えられたとともに、70周年各種事業に対する意識高揚に繋がる一助になったと考えます。
- ・おもてなしシートを作成し、自分の役割の中で出来る最大限のおもてなしをメンバー一人ひとりが考えたことにより、当事者意識を高められただけでなく、事業当日に実践するおもてなしを具体的にイメージする契機になったと考えます。
- ・決意表明においてメンバーが円になり、おもてなしシートに記載した内容や周年に対する決意を表明したことにより、メンバー同士が熱き想いを共有する中で、周年事業に対する意識高揚を図れたとともに、70周年を成功裏に導く一助になったと考えます。
- ・委員会タイムの最後に大きな声でシュプレヒコールを行ったことにより、開催テーマの「挑戦 進化～唯一無二のひこねを～」を改めて意識付けできたとともに、周年事業に向けメンバーが一致団結する一助になったと考えます。

7. [実施上の問題点]

- ・60周年の時の動画を視聴いただいた際に、随所で部会長からの説明をさせていただきましたが、部会長が話すことによって映像の音声が聞こえない箇所がありました。より良く理解してもらうためには、各動画内容のチャプターごとの配布説明資料、もしくは動画内に字幕を入れておくなど、目視、聴覚を効果的に使った伝え方を熟考しておく必要があったと考えます。
- ・運動指針の説明において、入会間もないメンバーがいた中では文章だけの説明では少し理解しにくい部分があったと考えます。どうしても難解な意味で捉えられやすい運動指針だからこそ、メンバーの経歴や在籍年数に対する理解度の差をなるべく少なくするため、文章だけではなく、判りやすい図などでの説明資料を準備しておく必要があったと考えます。

8. [次年度への引継事項]

- ・周年事業に対する決起例会は、周年事業当日までの進捗状況に関わるだけでなく、メンバーの周年に関わる姿勢にも大きく影響する非常に大事な例会となります。メンバーが一丸となるにはどうすべきか、何を伝えるべきかを真剣に考えていただき、より良い周年事業構築の礎となる設えを検討してください。

9. [添付資料の種類]

- ・参考資料ー1 委員会タイム資料
- ・参考資料ー2 おもてなしシート
- ・参考資料ー3 例会風景

10. [その他]

なし

事業収支決算書

[様式:報-2-1]

<事業報告収支決算書>

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差額	摘要
(収入の部)				
1. 本会計からの繰入金	10,000	10,000	0	
収入計	10,000	10,000	0	
(支出の部)				
1. 会場設営費	10,000	10,000	0	
支出計	10,000	10,000	0	
収支差額	0	0		

※上記収支差額(剰余金)は第9回の理事会の承認を経て本会計に繰り入れる

[様式:報-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	予算額	決算額	差額	備考
1. 本会計からの繰入金		4月度例会~さあやるぞ! 我らの70周年!!~	10,000	10,000	0	
	小計		10,000	10,000	0	
合計			10,000	10,000	0	

[様式:報-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科目	細目	摘要	予算額	決算額	差額	備考
1. 会場設営費	会場費	文教スタジオ5階	10,000	10,000	0	
	小計		10,000	10,000	0	
合計			10,000	10,000	0	

予算との主な差異

(収入) なし

(支出) なし



趣旨説明

彦根青年会議所創立70周年事業の開催が間近に近づく中、周年事業を成功に導くには、メンバーが一致団結し、周年に取り組む体制を整える必要があります！

本例会では、記念式典並びに、祝賀会の進捗状況や合同委員会の内容を改めてメンバーで共有するとともに、メンバー一人ひとりの役割と決意を発表していただくことで、メンバーの参画意識を改めて向上させ、彦根青年会議所創立70周年へと繋げる一助とします！！



お・も・て・な・し の心

第70代理事長
橋本 一哉



メンバーの役割発表



懇親部会 × 式典部会 説明タイム



懇親部会



懇親会 60周年動画

オープニング（大江戸吹雪）

※当時の動画をご覧ください

60周年 懇親会 オープニング.mp4



懇親会 70周年でのオープニング



懇親会 60周年動画

理事長挨拶

※当時の動画をご覧ください

[60周年 懇親会 理事長挨拶.mp4](#)



懇親会 70周年での理事長挨拶



懇親会 60周年動画

乾杯

※当時の動画をご覧ください

[60周年 懇親会 乾杯.mp4](#)



懇親会 70周年での乾杯



ひこねアレンジソーラン節

ソーラン節(ひこねアレンジ).mp4



祝賀懇親会 アジェンダ (案)

創立70周年記念祝賀懇親会アジェンダ		創立70周年記念祝賀懇親会アジェンダ	
進行時間	進行内容 (マリアージュ彦根)	進行時間	進行内容 (ベルテフォーリア)
13:00	1. 当日準備及びリハーサル開始	13:00	当日準備及びリハーサル開始
17:50	1. 受付開始 (40分)		
18:30	1. 開式	18:30	1. 受付開始 (40分)
18:31	1. 理事長挨拶 (4分)		
18:35	1. 来賓代表挨拶 (滋賀県知事・彦根市長) (各3分)		
18:41	1. 彦根青年会議所の歩み振り返りムービー (5分)		
18:46	1. 乾杯 (5分)		
18:51	1. 乾杯 (参加者の中で一番古い歴代理事長の方) (4分)		
18:55	1. 祝宴開始 歓談 (45分)		
		19:10	1. 開式
		19:11	1. 理事長挨拶 (4分)
		19:15	1. 来賓代表挨拶 (近畿地区協議会会長・滋賀ブロック会長) (各3分)
		19:21	1. 彦根青年会議所の歩み振り返りムービー (5分)
		19:26	1. 乾杯 (参加者の中で一番古い歴代理事長の方) (4分)
		19:30	1. 祝宴開始 歓談 (45分)
19:40	1. ひこねアレンジのソーラン (4分)		
19:44	1. 歓談再開 (45分)		
		20:15	1. ひこねアレンジのソーラン節 (4分)
		20:19	1. 歓談再開 (45分)
20:29	1. 若い我ら (2分)		
20:31	1. お礼のあいさつ (澤井実行委員長) (4分)		
20:35	1. 閉会		
20:36	1. 主賓・来賓・特別会員・JCI関係者をお見送り (15分)		
		21:04	1. 若い我ら (2分)
		21:06	1. お礼のあいさつ (澤井実行委員長) (4分)
		21:10	1. 閉会
		21:11	主賓・来賓・特別会員・JCI関係者をお見送り (15分)



式典部会



式典 60周年オープニン ※当時の動画をご覧ください

[60周年式典 オープニング.mp4](#)



式典 70周年でのオープニング



60周年 式典全体動画(抜粋)

開会宣言～シニアクラブ目録贈呈まで

※当時の動画をご覧ください

[60周年 開会宣言～目録贈呈.MOV](#)



60周年式典 スポンサーJCへ記念品贈呈

※当時の動画をご覧ください

[スポンサーJCへ贈呈.mp4](#)



70周年式典では
スポンサーJC(京都JC)へ

親子の盃

を贈呈します！



60周年動画 閉会宣言・クロージング

※当時の動画をご覧ください

[閉会宣言・クロージング.mp4](#)



70周年 閉会宣言・クロージング

委員長の閉会宣言の後
会場にいてるメンバーが登壇し
理事長を先頭に感謝の言葉を伝え
ステージの幕を閉じます！



60周年動画 運動指針発表

※当時の動画をご覧ください

[60周年 式典 運動指針説明.mp4](#)



式典 アジェンダ (案)

創立70周年記念式典アジェンダ	
進行時間	進行内容
9:30	1. 受付開始
10:00	1. 物故会員追悼 (3分)
10:03	1. オープニング (15分)
10:18	1. 開式宣言・点鐘
10:21	1. 国歌斉唱
10:23	1. JCIソング斉唱
10:25	1. JCI Creed唱和
10:28	1. JCI Mission唱和並びにJCI Vision唱和
10:31	1. JCI宣言文朗読並びに綱領唱和、LOMスローガン唱和
10:34	1. 来賓・来訪JC紹介 (12分)
10:46	1. 理事長挨拶 (10分)
10:56	1. 来賓祝辞 (25分) ・滋賀県知事 三日月 大造 氏 (5分) ・彦根市長 和田 裕行 氏 (5分) ・公益社団法人 日本青年会議所 会頭 麻生 将豊 君 (5分) ・公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区協議会 会長 柿野 真吾 君 (5分) ・公益社団法人 日本青年会議所 滋賀ブロック協議会 会長 芳田 真史 君 (5分)
11:21	1. 祝電披露
11:23	1. 歴代理事長紹介 (5分)
11:28	1. 彦根JCシニアクラブより目録贈呈 (4分)
11:32	1. 感謝状贈呈 (スポンサーJCへ)
11:35	1. 公益社団法人彦根青年会議所 運動指針発表 (10分)
11:45	1. クロージング映像 (5分)
11:50	1. 閉会宣言
	1. お見送り



60周年動画 運動指針発表

※当時の動画をご覧ください

[60周年 式典 運動指針説明.mp4](#)



70周年から始まる “新、運動指針...” ～長期ビジョン策定にあたっての背景～

2市4町の総合計画を読み解き、地域の課題と今後の目指すべきまちの在り方について考えました。

大きな問題として、人口減少・人口高齢化(労働人口の減少)、経済の停滞、環境問題など、今日の地域課題と対策について考え、私たちが今後 10年間取り組むべきVisionとして、誰もが羨むまち「ひこね」の実現に向けて策定いたしました。



Connect to the future
～誰もが羨むひこねの実現～



①人をつなぐ



②まちをつなぐ



③経済をつなぐ



- ①人をつなぐ
- ②まちをつなぐ
- ③経済をつなぐ

3つの柱で
誰もが羨む

明るい豊かな "ひこね" をつくる

おもてなしシート作成



おもてなしシート

氏名

式典での自分の役割

懇親会での自分の役割

式典で自分ができる「おもてなし」とは、.

懇親会で自分ができる「おもてなし」とは、.

※紙はA4を使用いたします。

決意表明

おもてなしシート

- 橋本 一幾君 式典、懇親会共 精一杯、感謝の気持ちを伝える。言葉で感動したと言ってもらえるように伝える。
- 横津 優騎君 周年に参加していただいたすべての人に感謝する。この周年に参加して本当に良かった。やっぱりJCは良いものだと思って帰っていただく。
- 木田 乃輔君 式典、懇親会共 最高の笑顔でお出迎え、お見送りをする。
- 宮川 佳典君 アラのない、スキのない式典を構築するため、監事という立場から流れや演出を確認すること。より良い式典を遂行して最大のおもてなし。
なぜ祝賀懇親会が必要なのか。なぜこのパーティーが開かれているのか、その意図が参加者に伝わる設えとなるよう、監事という立場から流れや演出を確認する。
- 大野 勝輝君 式典では、受付とお見送りで元気よくあいさつをし、気持ちよく参加し帰ってもらえるよう心掛ける。懇親会では、下を向いて原稿を読みっぱなしにするのではなく、時々会場を見ながら司会をするよう心掛ける。
- 澤井 雄一君 実行委員長として、挨拶周りはもちろんですが、広い視野で見て皆さんのサポートをしたいと思えます。残り3か月となりました。最高の周年、参加して良かったと思ってもらえる周年にメンバー全員で創り上げましょう。
- 飛松 龍君 式典では様々な想定される事態について準備を整えておき、懇親会では清潔感ある容姿にて感謝の気持ちをもってお出迎えをする。
- 西川 隼世君 受付ではJC来賓のリストを事前に確認し顔を覚え、こちらから出迎えるくらいの受付を行う。懇親会では臨機応変に対応し予想外のトラブルにも柔軟に対応し見ている人が安心できる司会を目指す。
- 夏原 大輝君 式典では、ただ受付の作業を淡々とするのではなく、来られた方と恐らく始めて言葉を交える現役メンバーとして、失礼のない言葉使いや所作を事前に勉強し身に付け、当日に挑みたい。懇親会でも同様に失礼のないよう、また急な問合せ、質問にも答えられるように、事前に全体の会場の設備であったり、食事であったり、飲み物であったりを把握しておく。
- 澤田 晃仁君 単に撮影をするだけでなく参加いただいた方に対し大きな声で挨拶することで気持ちよく式典、懇親会に参加していただける様にします。参加いただいた方が笑顔になる声掛けをして最高の笑顔を残します。
- 車 宝超君 式典では、舞台係としてしっかりと務めます。懇親会では多くの来賓が来られるので挨拶をしっかりし、会場案内を行います。
- 上田 一八君 式典では、裏方ですが、大事な役割となるのでミスをしないようにしっかりとリハーサルを行い、当日を成功に終わらせる。懇親会では写真を撮りながら全体を周り先輩へご挨拶を行う。
- 夏原 慶君 式典では、メンバーがおもてなしできるように管理、指導していきます。懇親会では、受付、アテンドでスムーズに動いてもらえるよう頑張る。
- 岡本 英志君 滞りなく動画を上映する。彦根青年会議所の歩みと未来を感じていただける動画を制作したり、懇親会ではオープニングやソーラン節動画を見ていただいて来られた皆さんに楽しんでいただきたいと思います。
- 丸山 義樹君 式典、懇親会共、すれ違った方全員に挨拶をする。
- 西村 健太郎君 式典では、プロジェクターやPCなど失敗すれば多くの方の気持ちを下げってしまう役割です。リハーサルから自分ごととして、確実に成功できるように取り組む。懇親会では、来場される方が到着し序盤に会話させていただき役割でもあるので最高の笑顔での挨拶、嫌な気持ちにさせない言葉で会話をさせていただきます。
- 北村 忠行君 式典では、青年らしく元気よく挨拶。懇親会では、OBの方が多く来られます。失礼のないように視野を広く持ち対応したいと思います。
- 園 一生君 式典、懇親会共、事前に顔と名前を覚えて、こちらから声をかけ受付に誘導したり会場に案内する
- 杉 康輔君 式典では、会場外誘導係として、来られた方々に大きな声で挨拶を彦根すごいなと感じてもらおう。懇親会では、粗相のないよう受付を行い、スムーズに中に入ってもらえるようにします。

- 山田 雅崇君 式典では、お越しいただいた方々に、笑顔で元気な声をだし、誘導と案内をすることでおもてなししたいと思います。懇親会では、駐車場の誘導はお越しいただいた方々が1番始めに目にする係になるので笑顔でご挨拶することで気持ち良く懇親会に参加していただきます。
- 西村 直人君 式典では、照明係として失敗しないようにリハーサルをし最高の周年にしたい。懇親会では駐車場係として笑顔で大きな声でお出迎えし感謝を伝える。
- 清水 翔太君 式典の司会では、しっかりと声を出しハキハキしゃべる。懇親会ではしっかりと駐車場の誘導する。元気よく挨拶する。
- 北川 凌君 式典では、失礼のないように、事前に席の確認をする。名前など間違えない様にする。懇親会では、お越しくくださった方々が迷わないように、解りやすく案内する。
- 中西 雄也君 式典では、会場までスムーズに移動していただける様に駐車場のメンバーと連携して案内する。懇親会では、スムーズな進行ができるように管理をしっかりする。両会場とも連携する。
- 藤井 肇君 式典では、ステージ上での動きをしっかりする。お出迎え、お見送りの祭は御礼の言葉をいう。懇親会では座席の位置をしっかり覚えて案内する。
- 土田 浩史君 式典では、明るく元気よく挨拶し駐車場の誘導を行う。懇親会では、間違えのないようスムーズに正確に明るく受付を行う。
- 北川 真衣君 式典では、司会という絶対失敗できない役を承ったので、とにかく練習と自己管理（のどすぐ潰すので）に気を付け自分のせいでせつかくの式典を台無しにしないことが私にできるおもてなしだと思います。懇親会では60周年を経験している数少ないメンバーのひとりなので、若いメンバーよりも顔なじみの先輩方もいると思うので、率先して話しかけに行ったりお酒をつぎに行ったりして、おもてなしできるよう心掛けたいです。
- 高橋 寛之君 式典では、駐車場で来賓の方が足を止めることのない様にスムーズな誘導を行う。懇親会では、気持ち良く来場してもらえる様に挨拶等声をかける。積極的に。
- 藤本 夏樹君 式典では、笑顔で気持ち良くお出迎え、ご案内します。懇親会では、大きな声で元気よく誘導する
- 近久 和輝君 式典、懇親会共 笑顔で対応する。感謝の意を伝える。

例会風景



理事長によるおもてなしについて



祝賀懇親部会長によるプレゼンテーション



式典部会長によるプレゼンテーション



運動指針提案



決意表明



集合写真

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第8回理事会2号議案

議案名：新入会会員承認

提案者：執行部

作成者：西川 隼世

上程月日：2023年 6月23日

目次	上程スケジュール
事業計画書 (1) ページ～ (3) ページ	第31回 執行部 会 2023年 6月14日 審議
行動計画書 (2) ページ	第32回 執行部 会 2023年 6月22日 審議
添付資料 (3) ページ	第8回 理事 会 2023年 6月23日 審議
最終ページ (3) ページ	

1. [事業計画提案名]

新入会会員承認の件

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する

「ひと」のチカラ・・・使命感と行動力を持った“ひこねびと”の伝承

「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

公益社団法人彦根青年会議所の将来を担う品格ある青年として、課せられた出席義務を果たし、積極的に青年会議所運動に取り組む意思を持ち、入会を希望された仮入会会員の正式入会を承認していただきたいと考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

① (実施日時) なし

② (実施場所・会場) なし

③ (予算総額) なし

④ (外部協力者) なし

⑤ (参加者動員計画) なし

⑥ (宣伝・推進方法) なし

⑦ (事業概要)

・第8回理事会において投票により可否を決定し入会を承認する。

・仮入会会員に対して6月26日付けで正式入会の可否を書面にて通知する。

6. [前年度よりの引継事項]

なし

7. [本年度の工夫と期待される効果]

なし

8. [執行部会での意見]

なし

9. [添付資料の種類]

参考資料 2023年仮入会会員出席一覧表

10. [その他]

なし

[様式：計-3]

行 動 計 画 書

事業名		新入会会員承認	
期間		企画開始 2023年 4月 6日 ~ 企画終了 2022年 7月 6日	
行動計画	月 日	内 容	確認印
	2023年 3月 6日	3月度入会者に対して、仮入会式開催・仮入会会員オリエンテーション 3月度例会開催	済
	3月13日	執行部にて基礎研修開催及び仮入会会員研修開催	済
	4月 6日	4月度入会者に対して、仮入会式開催・仮入会会員オリエンテーション 4月度例会開催	済
	5月 6日	5月度例会開催	済
	6月 6日	6月度例会開催	済
	6月 9日	仮入会会員に入会の意思確認	済
	6月21日	執行部にて基礎研修開催及び仮入会会員研修開催 仮入会会員に入会の意思確認	済
	6月23日	理事会に事業計画書上程	
	6月26日	正式入会の可否通知	
7月 6日	新入会会員入会式開催		

2023年3月度仮入会会員出席一覧表

	3 月 度 例 会	4 月 度 例 会	5 月 度 例 会	仮 入 会 会 員 基 礎 研 修	例 会 出 席 回 数	例 会 出 席 義 務 数	例 会 出 席 率
北川 真衣	○	○	○	○	3	2	100%

(敬称略)

2023年4月度仮入会会員出席一覧表

	4 月 度 例 会	5 月 度 例 会	6 月 度 例 会	仮 入 会 会 員 基 礎 研 修	例 会 出 席 回 数	例 会 出 席 義 務 数	例 会 出 席 率
近久 和輝	○	○	×	○	2	2	66%

(敬称略)

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第8回理事会議3号議案

議案名：仮入会会員承認

提案者：執行部

作成者：西川 隼世

上程月日：2023年 6月23日

目次	上程スケジュール
事業計画書 (1) ページ	第31回 執行部 会 2023年 6月14日 審議
行動計画書 (2) ページ	第32回 執行部 会 2023年 6月22日 審議
最終ページ (2) ページ	第5回 理事 会 2023年 6月23日 審議

1. [事業計画提案名]

仮入会会員承認の件

2. [事業の目的と意義：対外]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する

「ひと」のチカラ・・・使命感と行動力を持った“ひこねびと”の伝承

「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像

3. [事業の目的と意義：対内]

公益社団法人彦根青年会議所会員資格規則第2章第5条及び第6条に基づき、入会申し込みのあった青年を仮入会会員として、承認をいただきたいと考えます。

4. [事業計画の概要・推進方法]

① (実施日時) なし

② (実施場所・会場) なし

③ (予算総額) なし

④ (外部協力者) なし

⑤ (参加者動員計画) なし

⑥ (宣伝・推進方法) なし

⑦ (事業概要) 入会申込者並びに推薦者に対して6月24日付けで仮入会諾否を書面にて通知。

5. [前年度よりの引継事項]

なし

6. [本年度の工夫と期待される効果]

なし

7. [執行部での意見]

なし

8. [添付資料の種類]

・審議資料 2023年度入会申込者一覧表< 6月入会分> ※当日配布いたします。

9. [その他]

入会申込書、経歴書原本（当日回覧）

- (1) 仮入会后3ヶ月間に開催される例会に3分の2以上の出席をしたもの。但し、アテンダンスを認めるものとする。
- (2) 仮入会后3ヶ月間に開催される所定のセミナーを全講受講した者。

[様式：計-3]

行 動 計 画 書

事業名	仮入会会員承認		
期間	企画開始 2023年 6月 9日 ~ 企画終了 2023年 6月24日		
行動計画	月 日	内 容	確認印
	2023年 6月 9日	執行部にて新入会員候補者調査開始	済
	6月14日	執行部会にて審査開催	済
	6月22日	執行部会にて審査開催	済
	6月23日	理事会に事業計画書上程	
	6月24日	入会申込者並びに推薦者に対して仮入会諾否を書面にて通知	

公益社団法人 彦根青年会議所
2023年度 事業計画書

第8回理事会4号議案

議案名 : 2023年度滋賀ブロック大会守山大会全員登録

提案者 : 執行部

作成者 : 夏原 大輝

上程月日 : 2023年 6月23日

目次	上程スケジュール			
事業計画書	(1) ページ～ (2) ページ	第31回 執行部 会	2023年 6月14日	審議
行動計画書	(2) ページ	第8回 理事 会	2023年 6月23日	審議
添付資料	(3) ページ～ (4) ページ			
最終ページ	(4) ページ			

1. [事業計画提案名]

2023年度滋賀ブロック大会守山大会全員登録

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
「組織」のチカラ～目指すべき彦根青年会議所像～

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

第53回滋賀ブロック大会守山大会に参加するにあたり、県内各会員会議所のメンバーとの交流を深めることが出来るとともに、大会を盛り上げるべく全員で参加したいと考え、運営規則第5章第27条第4項に基づき大会の全員登録をご承認いただきたいと考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) なし
- ② (実施場所・会場) なし
- ③ (予算総額) なし
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (参加者動員計画) なし
- ⑥ (宣伝・推進方法) なし
- ⑦ (事業概要) 大会登録料を引き落としまたは現金徴収させていただきます。

6. [前年度よりの引継事項]

なし

7. [本年度の工夫と期待される効果]

なし

8. [執行部会での意見]

なし

9. [添付資料の種類]

参考資料 第53回滋賀ブロック大会守山大会 開催のご案内

10. [その他]

8月臨時総会終了後に各口座引き落とし、または現金にて徴収させていただきます。

行動計画書

[様式：計-3]

事業名		2023年度滋賀ブロック大会守山大会全員登録	
期間		企画開始 2023年6月9日～企画終了 2022年8月下旬	
行動計画	月日	内 容	確認印
	2023年 6月9日	滋賀ブロックより案内文着	済
	6月14日	執行部会にて審議	済
	6月23日	理事会に上程	
	8月10日	8月臨時総会に総会議案書上程	
	8月中旬	登録料徴収、指定口座に振り込み	

2023年6月吉日

公益社団法人彦根青年会議所
メンバー各位

公益社団法人 日本青年会議所
近畿地区 滋賀ブロック協議会
第53代会長 芳田 真史

第53回滋賀ブロック大会守山大会 開催のご案内

謹啓 向暮の候、滋賀 ブロック協議会の各青年会議所の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 滋賀ブロック協議会の活動に対しまして、多大なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度、第53回滋賀ブロック大会を公益社団法人守山青年会議所の主管のもと開催させていただき運びとなりました。本年度は『「滋賀はひとつを解き放つ」～各地の魅力を燈し、心をひとつに滋賀よ輝け～』を大会テーマに掲げ、会員の今後の活動の糧として広く伝播させることにより「SHIGA ⇄ JAPAN 顕在力を受信・潜在力を発信できる滋賀の創出」を実現するべく開催させていただきます。

ご多忙かとは存じますがご参加をよろしくお願い申し上げます。尚、日程詳細は下記の通りとなります。

謹白

記

開催日 2023年9月9日(土)
場 所 守山市民公園 市民体育館 大アリーナ
滋賀県守山市三宅町100番地
電 話 077-583-5354
服 装 JCクールビズ・JCパッチ・ネームプレート
登録料 依頼事項参照

【式典】 10:00～12:00 (受付9:30より)
【褒賞】 12:20～13:00
【卒業式】 16:30～17:10
【大懇親会】 18:00～19:40

以上

<依頼事項>

- ・喫煙に関しましては決められたスペースにてお願いいたします。
- ・駐車場には限りがありますので、バス等により乗り合せでお越し頂きますようお願いいたします。
- ・事前に配布いたしますリーフレットを持参をお願いいたします。
- ・時間厳守で集合をお願いいたします。
- ・服装は日本青年会議所規定のクールビズでご参加頂きますよう、お願いいたします。
- ・会場入場時にネームプレートを持参してください。
- ・各自名刺をご持参いただきますようお願いいたします。
- ・登録料につきましては、各 LOM 一括にてお振込みください。

<振込金額> 5,000 円/人

※令和 5 年 6 月 30 日(金)時点の正会員数分の金額をお振込みください。

<振込期日> 令和 5 年 7 月 31 日(月)

<振込先> 銀行名：楽天銀行 支店名：第四営業支店(254)

口座名：公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 滋賀ブロック協議会 C

口座番号：7372959

※お問合せ先 2023 年度実行委員会 事務局 公益社団法人守山青年会議所内

TEL：077-582-5168 E-mail：info@moriyama-jc.or.jp

担当:ブロック大会運営委員会 委員長 田邊 研人 携帯:090-6984-2619

公益社団法人 彦根青年会議所

2023年度 事業計画書

第8回理事会議5号議案

議案名 : 8月度臨時総会例会～組織の在り方を考えよう!～開催の件
 提案者 : 総務広報委員会
 作成者 : 澤田 晃仁
 上程月日 : 2023年 6月23日

目次	上程スケジュール
事業計画書 (1) ページ～(4) ページ	第28回 執行部会 2023年 5月17日 協議
収支予算書 (5) ページ	第29回 執行部会 2023年 5月25日 協議
行動計画書 (6) ページ	第13回 財政規則特別委員会 2023年 6月1日 審査
添付資料 (7) ページ～(16) ページ	第30回 執行部会 2023年 6月7日 審議
最終ページ (16) ページ	第8回 理事会 2023年 6月23日 審議

1. [事業計画提案名]

8月度臨時総会例会～組織の在り方を考えよう!～開催の件

2. [運動指針該当項目]

・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
 「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像

3. [事業の目的と意義：対外]

なし

4. [事業の目的と意義：対内]

彦根青年会議所が地域からの信頼と付託に応え、活気に満ちた組織として運動を展開していくためには、伝統を受け継ぎつつ時代の流れに柔軟に対応出来る組織運営を行う必要があると考えます。

本例会を通して、メンバー一人ひとりが組織の在り方について考えることにより、より良い組織運営を検討する一助になると考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

- ① (実施日時) 2023年 8月 7日 (月) 19:00～21:59 (受付開始18:30)
- ② (実施場所・会場) 文教スタジオ 5F会場
住所：滋賀県彦根市佐和町6-15
電話：0749-22-7681
- ③ (予算総額) 10,000円
- ④ (参加者動員計画) メンバー47名 (正会員32名、仮入会会員13名、外部監事2名)
- ⑤ (宣伝・推進方法)
 - ・メーリングリストにてPR
 - ・委員会訪問にてPR
 - ・SNSにてPR
 - ・委員長連絡会議にてPR
 - ・7月度例会にてPR
 - ・月報8月号紙面にてPR

⑥ (事業概要)	8月度臨時総会例会 アジェンダ	
	1. 受付開始	18:30
	1. 開会宣言・点鐘	19:00
	1. 国歌斉唱	19:01
	1. JCソング斉唱	19:03
	1. JCI Creed唱和	19:05
	1. JCI Mission並びにJCI Vision唱和	19:06
	1. JC宣言文朗読並びに綱領・LOMスローガン唱和	19:07
	1. 理事長挨拶	19:08
	1. 会務報告	19:13
	1. 委員会報告	19:15
	1. 出向報告	19:23
	1. レイアウト変更	19:28
	1. 委員会タイム(40分)	19:31
	1. レイアウト変更	20:11
	1. 8月臨時総会	20:14
	1. 開会宣言	20:14
	1. 出席調査	20:15
	1. 理事長挨拶	20:19
	1. 議長選出	20:24
	1. 定足数の確認	20:25
	1. オブザーバーの承認	20:26
	1. 議事録作成人及び署名人指名	20:28
	1. 資料の確認	20:29
	1. 審議事項	20:30
第1号議案		20:30
	2023年度8月補正収支予算書(案)承認の件	
第2号議案		20:34
	2023年度滋賀ブロック大会守山大会全員登録の件	
第3号議案		20:38
	公益社団法人彦根青年会議所 2024年度 委員会設置及び承認の件	
第4号議案		20:42
	公益社団法人彦根青年会議所 2024年度 委員長・会計・事務局長候補者委嘱承認の件	
第5号議案		20:46
	公益社団法人彦根青年会議所 2024年度 理事候補者定数決定の件	
第6号議案		20:50
	公益社団法人彦根青年会議所 2024年度 副理事長・専務理事・室長候補者指名及び承認の件	
第7号議案		20:55
	公益社団法人彦根青年会議所 2024年度 公選理事選出の件	
	1. 投票方法説明	21:00
	1. 開票作業	21:10
	1. 総会再開	21:30
	1. 開票結果	21:32
第7号議案		21:33
	公益社団法人彦根青年会議所 2024年度 特別委員会設置並びに特別委員長候補者指名及び承認の件	
	1. 各候補者挨拶	21:38
	1. 監事総評	21:43
	1. 閉会宣言	21:48
	1. 8月臨時総会終了	21:49
	1. 監事所感	21:50

1. 若い我ら斉唱	21:55
1. 閉会宣言・点鐘	21:58
1. 終了	21:59

6. [前年度よりの引継事項]

- ・次年度の組織、役員発表、公選理事選出という重要な総会となりますので、出席率向上を図るのはもちろんのこと粛々とした設えをしていただきたい。(2022年度8月臨時総会)

7. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・本例会を開催することにより、メンバー一人ひとりが組織の在り方について考え、定款・規則への理解を深める契機になると考えます。
- ・委員会タイムの事前説明にて、あらかじめメンバーからヒアリングを行った定款・諸規則等の議題の検討ポイントについて共有することで、歴の浅いメンバーに対しても定款・諸規則に記載されている内容を周知できるとともに、定款・諸規則等の組織の在り方について興味を持つ一助になると考えます。
- ・委員会タイムにて、定款・諸規則等に関する議題について、メンバー一人ひとりが自身の意見を発言する機会を設けることにより、組織の在り方についてより深く考える契機になると考えます。
- ・グループディスカッションのグループ分けを、JC歴が長いメンバーと短いメンバーで分散させることにより、多様な意見が出る一助になると考えます。
- ・グループディスカッションの中で、各メンバーの知識、経験、立場により、それぞれ違った角度からの意見を聴くことにより、各自の考えをよりブラッシュアップする一助になると考えます。
- ・各グループで出た意見について、全メンバーに共有することにより、共に活動する彦根青年会議所メンバーがどのような価値観を持って組織の在り方を考えているのかを、それぞれが知る契機になると考えます。
- ・例会アンケートを実施することにより、メンバー一人ひとりの「組織の在り方」についての意見を知ることが出来ることに加え、今後の総務広報委員会の取組上で参考となる意見を得る一助になると考えます。
- ・定款・諸規定が記されているハンドブックの持参を、事前にメンバーLINEグループやメールリストを使ってメンバーへ周知することにより、委員会タイム内で各自の参考資料となるとともに、改めてハンドブックの重要性を認識していただく一助になると考えます。
- ・臨時総会内で選挙を行うにあたり、投票方法の注意点に関してプロジェクターを使用して説明することにより、無効票を防ぐとともに、総会をスムーズに進行させる一助になると考えます。
- ・Google フォームを活用し、投票完了後の意思表示をメンバーから回収することにより、無効票を無くすとともに、投票漏れを防止する一助になると考えます。
- ・臨時総会において、メールリスト、SNS、PRでの案内にて総会内容の重要性を周知するとともに、メンバーLINEグループによる日程告知や、電話による出欠確認を開催の1ヶ月前から行うことにより、出席率の向上に繋がるものと考えます。

8. [執行部会での意見]

- ・時代の変化に対応し地域を先導する組織として継続するために、定款・規則への理解を深め、より良い組織運営について議論されたし。

9. [添付資料の種類]

- ・審議資料ー1 委員会タイム概要
- ・審議資料ー2 会場レイアウト
- ・審議資料ー3 例会アンケート
- ・審議資料ー4 公益社団法人彦根青年会議所2024年度公選理事被選挙人名簿
- ・審議資料ー5 公益社団法人彦根青年会議所2024年度公選理事選挙 経歴理事投票フォーム
公益社団法人彦根青年会議所2024年度公選理事選挙 未経験理事投票フォーム
公益社団法人彦根青年会議所2024年度公選理事選挙 経歴理事及び未経験理事投票フォーム並びに投票完了意思表示フォーム
- ・参考資料ー1 定款・諸規則等についてのヒアリング結果
- ・参考資料ー2 定款・諸規則等についての議題
- ・参考資料ー3 過去5年間8月臨時総会メンバー出席率

10. [その他]

- 例会アンケートにアクセスする Google フォームのリンク先は、当日QRコードを開示します。
- 公益社団法人彦根青年会議所定款第4章第31条、第32条、第6章第52条、第53条及び運営規則第3章第7条、第9条並びに役員選任の方法に関する規則第3章、第4章の定めに基づき、公益社団法人彦根青年会議所2024年度の役員候補者等を決定するために、臨時総会を開催いたします。
- 資料発送は事前にメール配信にて実施いたします。
- 議事録の承認は次回総会ではなく、総会終了後議事録を作成し、彦根青年会議所公式WEBサイトのメンバーページに一週間掲示したうえ、意見がなければ署名人の署名捺印により承認となります。
- ドレスコードはサマーエコスタイルとし、スーツにノーネクタイ、バッジ・ネームプレート着用とさせていただきます。

事業計画収支予算書

[様式:計-2-1]

<事業計画収支予算書>

(単位:円)

科 目	予算額	2023 年度予算額	前年度決算額	摘 要
(収 入 の 部)	10,000	10,000	10,000	
1. 本会計からの繰入金	10,000	10,000	10,000	
収 入 計	10,000	10,000	10,000	
(支 出 の 部)				
1. 会場設営費	10,000	10,000	10,000	
支 出 計	10,000	10,000	10,000	
収 支 差 額				

[様式:計-2-2]

<収入明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	金 額	備 考
1. 本会計からの繰入金	8 月度臨時総会例会	10,000	
	小 計	10,000	
合 計		10,000	

[様式:計-2-3]

<支出明細書>

(単位:円)

科 目	細 目	摘 要	金 額	備 考
1. 会場設営費	会場費	文教スタジオ5階	10,000	
	小 計		10,000	
合 計			10,000	

行 動 計 画 書

事業名	8月度臨時総会例会～組織の在り方を考えよう～開催の件		
期 間	企画開始 2023年 5月 2日 ～ 企画終了 2023年10月23日		
	月 日	内 容	確認印
行動計画	2023年 5月 2日	委員会にて基本コンセプト協議	済
	5月24日	委員会にて詳細を検討	済
	6月 5日	委員会にて詳細を検討	済
	6月 6日	8月臨時総会例会開催日についてのヒアリングを実施	済
	6月23日	理事会に事業計画書上程	
	6月 下旬	委員会にて例会資料作成開始	
	7月 6日	7月度例会にてPR	
	7月 上旬	委員会訪問にてPR開始	
	7月 上旬	メンバー出欠確認開始	
	7月17日	委員長連絡会議にてPR	
	7月 下旬	メーリングリスト及びSNSにてPR開始	
	7月28日	8月臨時総会資料発送 8月度例会案内送付	
	8月 7日	8月度臨時総会例会～組織の在り方を考えよう！～開催	
	8月 8日	8月臨時総会決議事項を配信	
	8月 中旬	委員会にて事業報告書作成開始	
	10月23日	理事会に事業報告書上程	

委員会タイム概要

【アジェンダ】

委員会タイム前半

- | | |
|---|-------|
| 1. 趣旨説明 | 19:31 |
| 1. グループワークの方法と定款・諸規則等に関する議題について説明 | 19:33 |
| 1. 委員会メンバーがファシリテーターとなりグループに分かれて各人の意見を徴収 | 19:40 |
| 1. グループごとに出された意見を全体に共有 | 20:00 |
| 1. 例会アンケート | 20:06 |
| 1. 終了 | 20:11 |

【開催趣旨】

彦根青年会議所が地域からの信頼と付託に応え、活気に満ちた組織として運動を展開していくためには、伝統を受け継ぎつつ時代の流れに柔軟に対応出来る組織運営を行う必要があると考えます。本例会を通して、あらかじめ定款・諸規則等に関する議題についてメンバーにヒアリングを行い決定したテーマについて、メンバー一人ひとりが自らの考えを出し合うことにより、今後の組織の在り方を考える契機になると考えます。

1. 委員会タイム趣旨説明

委員会タイム前半

【方法】 スライドを利用したプレゼンテーション

【ねらい】 本例会の趣旨と目的について説明。

1. グループワークの方法と定款・諸規則等に関する議題について説明

【方法】 スライドを利用したプレゼンテーション

【ねらい】 グループワークの方法を説明するとともに、グループワークでメンバーに話をしてもらった議題について、その背景や議論の前提となる情報について説明を行う。

1. 委員会メンバーがファシリテーターとなりグループに分かれて各人の意見を徴収

【方法】 グループディスカッション形式

【ねらい】 グループごとに定款・諸規則等に関する議題について全員の意見を徴収する。全員が発言する場を設けることで、一人ひとりにしっかりと組織の在り方について考えてもらう動機づけにする。

1. グループごとに出された意見を全体に共有

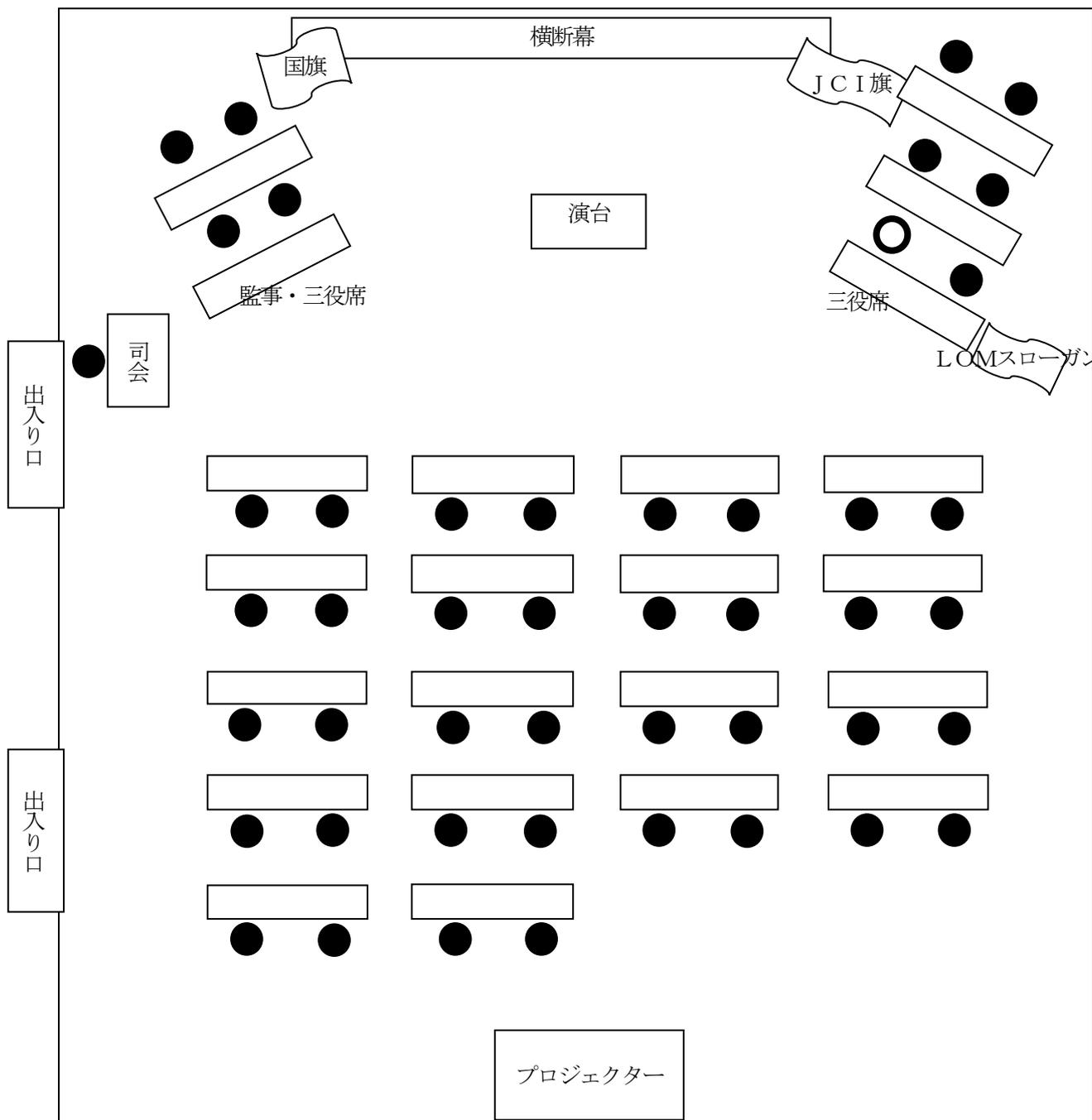
【方法】 各グループの代表一名による全体発表

【ねらい】 他のメンバーが定款・諸規則等の議題に対してどのような意見を持っているのかを聴くことにより、メンバー一人ひとりが多様な考えから気づきを得るとともに、組織の在り方について興味を持つ契機としたい。

※会場レイアウト（開会セレモニー及び、8月臨時総会終了時点まで）

開場サイズ：約 14m × 12m

※当日の出席状況により席の配置が変動する可能性があります。



○ 理事長

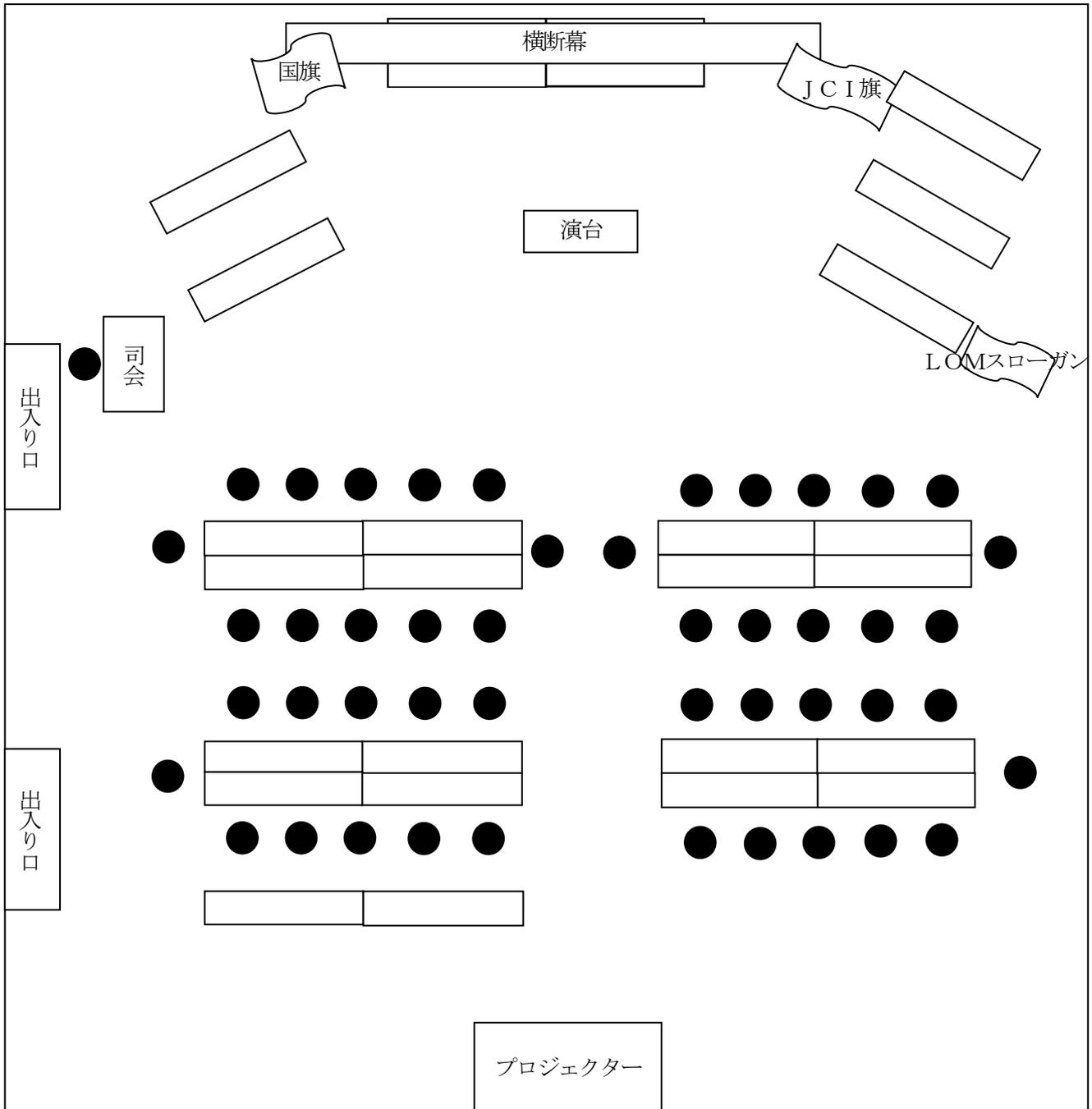
<前列席次詳細>

- 右上1列目（三役） 演台側から橋本理事長、横津直前理事長
- 右上2列目（三役） 演台側から大野副理事長、澤井副理事長
- 右上3列目（三役） 飛松副理事長
- 左上1列目（監事） 演台側から木田監事、宮川監事
- 左上2列目（三役） 演台側から西川副理事長、夏原専務理事

※会場レイアウト（委員会タイム開会～委員会タイム閉会まで）

開場サイズ：約 14m × 12m

※当日の出席状況により席の配置が変動する可能性があります。



8月度（臨時総会）例会～組織の在り方を考えよう～アンケート

8月度（臨時総会）例会にご参加いただきありがとうございました。以下のアンケートにご回答いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

akiisan33@gmail.com [アカウントを切り替える](#) 

 共有なし

* 必須の質問です

Q1. 本例会を通して、彦根青年会議所の在り方について興味を持つきっかけになりましたか？ *

興味を持つきっかけになった。

興味を持つきっかけにはならなかった。

Q2. Q1の回答について、理由をお答えください。 *

回答を入力

Q3. 本例会を通して、組織の在り方について考えることは有意義だったと思いますか？ *

有意義だったと思う。

有意義だったと思わない。

どちらでもない。

Q4. Q3の回答について、なぜそう思ったのかをお答えください。 *

回答を入力

Q5. 本例会を通して、今後の彦根青年会議所活動の中で時代に合わせた組織運営を行う必要があると感じましたか？ *

必要があると感じた。

必要はないと感じた。

Q6. Q5の回答について、そのように感じた理由をお答えください。 *

回答を入力

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

送信 フォームをクリア

公益社団法人 彦根青年会議所
2024年度 公選理事被選挙人名簿

経歴理事	未経験理事
1. 青木 克実	18. 奥田 拓郎
2. 上田 一八	19. 木村 佳史
3. 大野 勝輝	20. 清水 翔太
4. 北川 凌	21. 杉 康輔
5. 北村 忠征	22. 土田 浩史
6. 園 一生	23. 檜原 大輝
7. 車 宝超	24. 西村 健太郎
8. 飛松 龍	25. 西村 直人
9. 中西 雄也	26. 丸山 義樹
10. 夏原 慶	
11. 夏原 大輝	
12. 西川 隼世	
13. 福原 悠平	
14. 藤井 肇	
15. 村上 元気	
16. 山田 雅崇	
17. 横津 優騎	

2024年度 公選理事選挙 投票フォーム

公選理事第4号議案
2024年度 理事候補者定数決定の件

第5号議案
2024年度 副理事長・専務理事・室長候補者指名及び承認の件選挙

第4号議案の決議により、理事定数（理事の人数）が15名（仮）と決定されました。
定款の規定により以下の投票フォームより理事に相応しいと思われる正会員を選出してください。

※要注意

第5号議案にて指名及び承認された副理事長、専務理事の5名（仮）には投票しないでください。

（投票方法）

- ・経歴理事から3名（仮）
- ・未経験理事から3名（仮）
- ・経歴理事及び未経験理事から3名（仮）※経歴理事と未経験理事の割合がそれぞれ1/3以上になるように

※重複した方に投票しないよう注意してください。

akiisan33@gmail.com [アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

経歴理事の名簿より3名（仮）に投票してください。ただし、副理事長候補者、* 専務理事候補者には投票しないでください。

- 青木 克実
- 上田 一八
- 大野 勝輝
- 北川 凌
- 北村 忠征
- 園 一生
- 車 宝超
- 飛松 龍
- 中西 雄也
- 夏原 慶
- 夏原 大輝
- 西川 隼世
- 福原 悠平
- 藤井 肇
- 村上 元気
- 山田 雅崇
- 横津 優騎

未経験理事の名簿より3名（仮）に投票してください。*

- 奥田 拓郎
- 木村 佳史
- 清水 翔太
- 土田 浩史
- 橋原 大輝
- 西村 健太郎
- 西村 直人
- 丸山 義樹

以下の名簿より、まだ選択していない3名（仮）に投票してください。ただし、*
副理事長候補者、専務理事候補者には投票しないでください。

- 青木 克実
- 上田 一八
- 大野 勝輝
- 北川 凌
- 北村 忠征
- 園 一生
- 車 宝超
- 飛松 龍
- 中西 雄也
- 夏原 慶
- 夏原 大輝
- 西川 隼世
- 福原 悠平
- 藤井 肇
- 村上 元気
- 山田 雅崇
- 横津 優騎
- 奥田 拓郎
- 木村 佳史
- 清水 翔太
- 杉 康輔
- 土田 浩史
- 橋原 大輝
- 西村 健太郎
- 西村 直人
- 丸山 義樹

送信

フォームをクリア

投票完了者確認フォーム（公選理事選挙）

投票を正しく完了された方は、こちらにお名前を入力して送信してください。まだ、投票が完了されていない方は総務広報委員会までお知らせください。

akiisan33@gmail.com [アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

ご自身のお名前を入力し送信してください。*

回答を入力

送信

フォームをクリア

参考資料- 1

定款・諸規則等についてのヒアリング結果

- ・彦根青年会議所が公益財団法人である必要があるかどうか議論したい。
- ・理事定数15名から33名という数は、現状の組織の規模と照らし合わせて適切かを議論したい。
- ・各役職の役割について議論してはどうか。
- ・執行部や副理事長がどうあるべきか、人の上に立つ役職とはどうあるべきかを議論したい。
- ・理事会の議論を活発にするため、委員長も理事会で質問を出来るようにするべきか議論したい。
- ・財政規則特別委員会の必要性について議論したい。
- ・ペーパーレスが進む中、議事録等への押印について印鑑レスに出来ないか。

(拡大に関すること)

- ・仮入会期間は設ける必要はあるのかについて考えたい。
- ・入会時期を前期入会と後期入会に分けることは必要かどうかについて考えたい。※入会できない期間がある。
- ・会費に関することについて議論したい。
入会時の会費を月割り計算にして、途中からでも入会しやすいように出来ないか。
入会1年目の会費を安くするなどして、入口のハードルを下げることは出来ないか。

グループディスカッションの議題

A グループ 「入会の時期を前期と後期に分ける必要があるか」

会員資格規則 第2条2項 入会期間は、前期入会を4月、5月及び6月とし、後期入会を10月、11月及び12月とする。

B グループ 「彦根青年会議所が公益社団法人である必要はあるか」

	一般社団法人	公益社団法人
設立手続き	設立登記のみ	設立登記後に行政庁へ公益認定申請
設立時資金(基金)	不要	不要
設立者数	2人以上	2人以上
理事数	2人以上	3人以上
理事会	設置することも可能	必ず設置
監事数	1人以上(理事会設置の場合)	1人以上
会計監査人数	原則不要	基準を超えた場合1人以上必要
公証人手数料	50,000円	50,000円
登録免許税	60,000円	60,000円
所轄庁	なし	なし
監督	なし	都道府県庁又は内閣府
許認可	なし	公益性認定
設立期間	2週間～4週間程度	設立2週間～4週間程度+認定相当期間
社会的信用	低い	高い
課税	全所得課税と収益事業課税に区分	原則非課税・公益目的以外課税
税率	会社と同じ	会社と同じ
寄付金優遇	非営利型の場合、優遇アリ	あり
報告	なし	毎年度行政庁に提出
法人格取消し	休眠の場合解散	認証取消しの場合解散

C グループ 「理事定数15名以上33名以内という数は適正か」

定款第31条1項 本会議所に次の役員を置く。

- (1) 理事15名以上33名以内
- (2) 監事2名以内

D グループ 「仮入会制度は必要か」

会員資格規則第7条1項 仮入会の認められた者は、次の資格を得て、正式入会を希望すれば、理事会にはかり理事会は正式入会の可否を決定する。

- (1) 仮入会后3ヶ月間に開催される例会に3分の2以上の出席をしたもの。但し、アテンダンスを認めるものとする。
- (2) 仮入会后3ヶ月間に開催される所定のセミナーを全講受講した者。
- (3) 仮入会后、3ヶ月以内に仮入会会員会費65,000円を全納した者。

過去5年間8月臨時総会メンバー出席率

	開催日時	正会員	場所
2018年	8月 6日 (月)	28/42 (66.6%)	文教スタジオ
2019年	8月 6日 (火)	22/35 (62.8%)	文教スタジオ
2020年	8月 6日 (木)	23/39 (59.0%)	文教スタジオ
2021年	8月 6日 (金)	23/36 (63.8%)	文教スタジオ
2022年	8月 10日 (木)	19/31 (61.2%)	文教スタジオ

公益社団法人 彦根青年会議所 2023年度 事業計画書

第8回理事会6号議案

議案名：滋賀ブロック協議会褒賞申請

提案者：総務広報委員会

作成者：澤田 晃仁

上程月日：2023年 6月23日

目次	上程スケジュール
事業計画書 (1) ページ ~ (2) ページ	第28回 執行部会 2023年 5月17日 協議
行動計画書 (3) ページ	第29回 執行部会 2023年 5月25日 協議
添付資料 (4) ページ ~ (12) ページ	第13回 財政規則特別会議 2023年 6月 1日 審議
最終ページ (12) ページ	第30回 執行部会 2023年 6月 7日 審議
	第8回 理事会 2023年 6月23日 審議

1. [事業計画提案名]

滋賀ブロック協議会褒賞申請の件

2. [運動指針該当項目]

- ・本事業は運動指針「We can go to the next stage～私たちにチカラがひこねの未来を創造する～」において、下記の項目に該当する
「組織」のチカラ・・・目指すべき彦根青年会議所像
「ひと」のチカラ・・・使命感と行動力を持った“ひこねびと”の伝承

3. [事業の目的と意義：対外]

滋賀ブロック協議会に褒賞申請を行い、彦根青年会議所の活動に対する熱い想いや活動成果を県内LOMに向けて発信するとともに、県内LOMとの情報共有を行い、互いに学び合うことで、彦根青年会議所の今後の活動に活かす契機にしたいと考えます

4. [事業の目的と意義：対内]

私たちが実施した事業を再度検証して滋賀ブロック協議会へ申請を行うとともに、県内LOMの青年会議所が行う事業の目的や、事業に込められた想いを彦根青年会議所メンバーに共有することにより、今後の彦根青年会議所の活動に活かす契機にしたいと考えます。

5. [事業計画の概要・推進方法]

① (実施日時)

< 事前説明会 >
6月7日(水) 19:00~20:00
<申請締切>
6月30日(金)
<申請書類事前審査>
7月5日(水)~7月11日(火)
<公開審査>
7月20日(木) 13:30~17:15

- ② (実施場所) <事前説明会>
 オンライン (ZOOM)
 <公開審査>
 コミュニティセンターしのはら大ホール
 滋賀県野洲市大篠原4024-2
- ③ (予算総額) なし
- ④ (外部協力者) なし
- ⑤ (参加者動員計画) 47名 (正会員32名、仮入会会員13名、外部監事2名)
- ⑥ (宣伝・推進方法) 6月23日 (金) 理事会終了後にてPR (プレゼンテーション実施)
 公式WEBサイト及びSNSにてPR
 メンバー向けSNSにてPR
 委員長連絡会議にてPR
 委員会訪問にてPR
- ⑦ (事業概要) 申請事業名 : 10月度 (事業) 例会～地域の魅力体験発掘ツアー～
 申請理由 : 協議資料「申請理由書」参照
 賞の種類 : グランプリ 1 LOM
 準グランプリ 2 LOM
 会長特別賞 1 LOM
 エントリー事業の制限 : 各LOM1事業

6. [前年度よりの引継事項]

- ・滋賀ブロック協議会褒賞申請事業は滋賀県内11LOM及び市民に対して、行った事業を発表するとともに、他のLOMの行った事業の発表を見て学びを得る機会となります。彦根青年会議所の運動・活動を体外の方々に周知していただく数少ない機会でもあるため、私たちの行った事業の魅力を十分に伝えられるような工夫を検討していただきたい。
- ・滋賀ブロック協議会褒賞申請事業は県内11LOMが行った事業を、自信を持って発表を行う場であり、学びも多くあるため、多くのメンバーが参加できるような設えを行っていただきたい。

7. [本年度の工夫と期待される効果]

- ・滋賀ブロック協議会に褒賞申請することにより、私たちの活動の成果や事業に掛ける熱い想いを発信するとともに、県内LOMの事業内容を共有することで相互理解を深める一助にしたいと考えます。
- ・褒章公開審査の案内をメンバー向けSNSにて発信することにより、メンバーに公開審査への参加を促すとともに、私たちの活動の成果や事業に掛ける想いを共有する契機にしたいと考えます。
- ・滋賀ブロック協議会が撮影される公開審査の動画を彦根青年会議所メンバーに配信し閲覧いただくことにより、他LOMの事業から学びを得るとともに、今後の活動に活かす契機にしたいと考えます。
- ・月報8月号にて公開審査の様子をアップすることにより、メンバーに褒章の様子について共有するとともに、対外にも私たちの活動の成果や事業にかける想いを理解いただく一助になると考えます。

8. [執行部会での意見]

- ・彦根青年会議所の事業を検証、発信するとともに、県内LOMの申請事業から学び得る機会を創出し、今後の活動に活かす取り組みとされたし。

9. [添付資料の種類]

- ・協議資料-1 褒賞申請書
- ・協議資料-2 褒賞申請理由書
- ・協議資料-3 滋賀ブロック協議会褒章申請プレゼンテーション資料 (当日資料配布)
- ・参考資料-1 2023年度 滋賀ブロック協議会 褒賞申請要綱

10. [その他]

- ・なし

行動計画書

事業名	滋賀ブロック協議会褒賞申請の件		
期間	企画開始 2023年 4月21日 ~ 企画終了 2023年11月24日		
行動計画	月日	内	確認印
	4月21日	滋賀ブロック協議会から褒賞申請の有無の確認	済
	4月28日	褒賞申請についてブロック協議会担当者に確認	済
	5月 2日	委員会にて詳細を検討 申請事業対象当時の委員長と打合せ	済
	5月24日	委員会にて詳細を検討 褒賞申請についてブロック協議会担当者に確認	済
	6月 5日	委員会にてプレゼンテーション内容協議	済
	6月 7日	事前説明会に参加	済
	6月23日	理事会にて褒賞申請議案書上程 理事会にて協議事項提案書上程(プレゼンテーション内容協議)	
	6月 下旬	委員会にて資料の最終確認	
	6月30日	応募締切	
	7月20日	公開審査	
	7月 下旬	滋賀ブロック協議会が撮影される公開審査の動画をメンバーに配信	
	8月 1日	月報8月号にて公開審査の様子をアップ	
	9月 9日	ブロック大会式典内にてエントリー事業紹介・結果発表・表彰式	
	9月 中旬	委員会にて事業報告書作成	
	9月 下旬	公式WEBサイトにて褒賞審査結果をアップ	
11月24日	理事会に事業報告書上程		

褒賞申請書

指定様式1

大項目	小項目	内容・注意事項	
申請青年会議所基本情報	申請青年会議所名	公益社団法人彦根青年会議所	
	メンバー数	32名	
	理事長名	橋本 一幾	
	事務局住所	滋賀県彦根市中央町3-8 3階	
	電話番号	0749-22-7522	
	申請担当氏名	澤田 晃仁	
	申請担当連絡先	090-7881-8754	
	申請担当メールアドレス	akiisan33@gmail.com	
事業名	10月度(事業)例会～地域の魅力体験発掘ツアー～		
メンバー出席率	正会員	31名中	18名 出席率 58.06%
開催期間	2022年10月30日(日) 8:30～16:47		
開催場所	豊郷小学校旧校舎群、萬年山 長松院、醒井養鱒所		
協力団体	協力: 萬年山 長松院、エフエムひこねコミュニティ放送株式会社 後援: 彦根市教育委員会、米原市教育委員会		
事業対象者	メンバー及び市民		
参加費の有無	2,000円		
事業参加者(計画)	関係者数	33名	一般参加数 50名
事業参加者(実施)	関係者数	20名	一般参加数 17名
事業総予算・収支	予算額	¥269,264円	決算額 ¥136,776円
事業実施背景	「まちのチカラ」、「ひとのチカラ」、「こころのチカラ」、「組織のチカラ」、「ゆめのチカラ」の5つのチカラからなる私たちの運動指針「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」を目指す中で、ひこねのまちが夢や希望に溢れ持続的に発展していくためには、住み暮らす人びとが、自らまちのより良い発展を目指して行動を起こしていく必要があると考え、ひこねの豊富な地域資源に触れる機会を創り、その中で魅力の再認識や新たな発見を通して、愛郷心と誇りを醸成する必要があると考えました。		
事業目的	このまちに愛情と誇りを持ち続けるためには、ひこねの魅力あふれる地域資源を、市民により多く触れていただき、まちへの関心を深め、更なる愛郷心を抱く必要があると考えます。本事業を通して、参加した子どもたちが地域資源の魅力を感じ触れ合うとともに、新たな発見をし、地域への関心をより深め、ひこね愛を高めることにより、未来に夢や希望を抱ける契機になると考えました。またメンバーも、参加者と交流しひこね愛を継承することにより、住むまちへの明るい未来を想い描く契機になると考えました。		

<p>事業概要</p>	<p>【事業の概要】 彦根市、米原市、多賀町、甲良町、豊郷町、愛荘町の2市4町の小学校4年生から6年生を対象に参加者を募集し、豊郷小学校旧校舍群、醒井養鱒場、萬年山 長松院、の3箇所を巡りました。普段は公開されていない場所を特別に案内していただいたり、マス釣りをしたり、全員で座禅体験をするなど、彦根青年会議所が主催するからこそ実現できる内容のツアーをさせていただきました。</p> <p>【工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者に対して、学校や家庭では触れる機会がない地域資源や体験をしていただけるよう、普段は非公開の場所や、普段商売として提供されていない座禅体験をツアーに含めました。 ・バスツアーを開始する前にレクリエーション交流タイムを設けることにより、初対面の参加者同士が打ち解けた状態でツアーに臨めるようにしました。 ・移動中のバスの中で、地域資源を題材にしたクイズ大会を行うことにより、参加者同士の交流を深めるとともに、楽しみながらひこね愛を継承できるようにしました。 ・ツアー終了後に、グループ発表を行うことにより、当日触れた地域資源についてさらに関心を深めるとともに、お迎えに来た参加者の保護者にも新たな発見を共有できるようにしました。 ・保護者に対するアンケートを実施することにより、親子間のコミュニケーションが生まれ、保護者にも地域資源の魅力を感じていただくきっかけになりました。
<p>実施結果</p>	<p>参加した小学生の人数と参加メンバーの人数がほぼ同数であったため、自ずと参加者とメンバーが常に交流をする状態が続き、事業目的の一つであった、ひこね愛の承継がより深く印象に残る形で実施出来たと考えます。</p> <p>豊郷小学校旧校舍群では、普段非公開の場所をガイド付きで案内いただいたり、萬年山長松院では、座禅体験に加え、世界で初めて彦根で発明されたと言われる自転車の展示を見せていただくなど、参加者のみならず日頃からひこねの地域資源に触れてきたメンバーも新たな発見をし、参加者とともにひこね愛を高めることが出来ました。</p> <p>参加者へのアンケートでは、「いつも入れないところに入れて、色んなことが知れて良かったです。」「初めての座禅体験で緊張したけど、いい経験ができました。」「世界で初めて自転車が生まれたのが彦根だと知ってすごかったです。」「など、新たな発見や初めての体験が出来たという意見がほとんどでした。また、保護者さんへのアンケートでは、「親の都合でやらせてやれない事を体験させて頂き、感謝しています。」「今後もこのような企画があれば兄弟で参加させ、様々な視野を広げてもらいたいと思います。」「といったポジティブな意見が大半であり、学校や家庭では経験出来ない地域資源の魅力に触れる機会を提供できたと考えます。</p>
<p>地域社会への貢献・影響</p>	<p>保護者さんへのアンケートの結果から、家庭で日頃子どもたちと接する中で、地域資源の魅力に触れさせるような体験はほとんどさせられていないということが分かりました。ここ2～3年は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、さらに子どもたちが地域資源に触れる機会が減っています。本事業を通して、ひこねの地域資源に触れる機会を得た子どもたちやその保護者さんに対しては、私たちのまちひこねへの愛郷心や誇りを醸成できました。その、子どもたちや保護者さんは、少なからずお友達や知人にバスツアーの内容を話すことがあると考えます。その話を聞いた方が、ひこねの地域資源に少し興味を持つだけでも、新たな体験、発見を生み、ひこねへの愛郷心や誇りを持つ契機になると考えます。</p>
<p>LOM・メンバーへの影響</p>	<p>本事業を通して、日頃ひこねで活動をしているメンバー自身にとっても新たな発見が数多くありました。本事業におけるメンバーの役割は、参加者である子どもたちと積極的に関わる中でひこね愛を継承していくというものでしたが、子どもたちと一緒に新たな発見をし、ひこねの魅力をより深く知ることにより、メンバー自身もひこねへの愛郷心と誇りを醸成することが出来ました。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>本事業は、参加した小学生やその保護者さんにとって、満足度の高い事業となりました。今や家庭や学校生活の中で地域資源の魅力に触れる体験をする機会はほとんどないなか、本事業のような機会を設けることで、わたしたちが住むまちへの郷土愛や誇りを醸成することはとても意義のある活動だと考えます。今回はバスツアーという手法でしたが、今後も様々な手法を用いて本事業のような地域資源の魅力に触れる体験型の事業を展開していきたいと考えます。</p>

※事業概要に記載している内容を補足・説明できる写真と説明を載せてください。(事業の様子や準備風景、事業を象徴する写真など)なお、事業写真は必要に応じて増やしても構いません。

事業写真1



本事業の参加者である小学校4年生～6年生の子どもたちが、保護者さんに送迎され豊郷小学校旧校舎の講堂に集まってきました。本事業は、参加された初対面の子どもの交流を育むという観点から、保護者さんにはツアーには参加できません。

事業写真2



ツアー中のグループは、初対面のメンバーも含めて構成しているため、まず初めに子ども同士がリラックスして仲良くなれるようレクリエーション交流タイムを設けました。レクリエーション交流タイムでは、自己紹介やニックネームを決めました。

事業写真3



豊郷小学校旧校舎群では、各グループに地元のボランティアガイドさんがついていただき、豊郷小学校の歴史や、各所の見どころについてお話していただきました。本事業では、普段は一般公開されていない部屋にも案内していただくことができ、ツアーならではの体験をすることが出来ました。

事業写真4



醒井養鱒場では、マス釣り体験をして、マスの塩焼きを食べました。マス釣りは適度な難しさがあり、釣れた時は大いに盛り上がりました。参加者の中には初めて釣りをするという子どももいて、郷土愛を育みながら日頃出来ない経験もさせてあげられたと思います。

事業写真5



萬年山長松院では、座禅体験をしました。彦根の銀座商店街の中にあるお寺ですが、彦根青年会議所メンバーでも初めて訪れる人が殆どで、メンバーにとっても新たな発見でした。座禅の時は住職さんも厳しく指導をされ、教育的な要素も入れることが出来ました。また、長松院には江戸時代に彦根で創られた世界発という説もある自転車のレプリカが展示されており、子どもたちも非常に興味深く見学をしていました。

事業写真6



バスツアーを終えて再び豊郷小学校旧校舎群の講堂に戻り、グループ発表に向けた振り返りを行いました。グループで各々に感じたことを話してもらうことで、他の子どもたちもより深く当日の体験を掘り下げることが出来ました。

事業写真7



子どもたちを迎えに来た保護者さんも見守るなか、各グループごとにバスツアーの体験や感じたことを発表しました。皆の発表を聴くことで、子どもたちだけでなく、保護者さんにも新たな発見を共有でき、愛郷心や誇りを育む契機になりました。

事業写真8



豊郷小学校旧校舎の講堂で集合写真を撮りました。新たな発見をして郷土愛や誇りを育んだ子どもたちの様子を見て、保護者さんにも喜んでいただきました。この後、保護者さんと子どもたちに今回のツアーについてコミュニケーションを取ってもらった上で、保護者さんにはアンケートに答えていただきました。

褒賞申請理由書

(指定様式2)

公益社団法人日本青年会議所近畿地区
滋賀ブロック協議会
褒 賞 申 請 理 由 書

申請青年会議所名:公益社団法人彦根青年会議所

当会議所では、運動指針である「We can go to the next stage～私たちのチカラがひこねの未来を創造する～」として「まちのチカラ」、「ひとのチカラ」、「こころのチカラ」、「組織のチカラ」、「ゆめのチカラ」の5つの新たな価値を創出することを目指しています。

私たちが暮らすまちには市民の手で大切に守られてきた国宝・彦根城を中心とした歴史的な遺産や文化、地域を取り巻く豊かな自然があります。これまで私たちは様々な事業を通じて地域資源の魅力を市民と共に再認識し、その価値を共有することで愛郷心を育み、まちを愛するこころを育て参りました。「こころのチカラ」、それはひこねのまちに輝かしい未来をもたらすため、まちの課題に向き合い、まちのより良い発展を目指して行動を起こすことのできる「ひこねスピリット」を持った市民を育成すること。ひこねを想う市民の「こころのチカラ」が発揮される場所を提供することを目指しています。そのようなこころを抱いた市民が、周囲に、次世代に、ひこねというまちの魅力を自発的に伝播していくためには、ひこねスピリットをより大きなチカラへと発展させていくことで豊かなこころを醸成することが必要だと考えます。

「10月度事業例会～地域の魅力体験発掘ツアー～」は、参加した子どもたちが地域資源の魅力を体感し触れ合うとともに、新たな発見をし、地域への関心をより深め、ひこね愛を高めることにより、未来に夢や希望を抱けるようにすることを目的としました。長らく続く新型コロナウイルス感染症の影響もあり、近年は家庭や学校行事で地域資源の魅力に触れるという機会は従来よりもさらに減っています。そのような課題を踏まえ、本事業では参加した子どもたちが、存分に地域資源の魅力を体感し、新たな発見が出来るようなバスツアーを設えました。実際にツアーに参加した子どもたちからは、「地域のことをより知る事が出来た」「新しい発見をした」「初めての体験ができた」という声が得られました。また、保護者さんからは「家庭ではさせられない体験をさせてもらった」という趣旨の声が多く、参加者と保護者からの満足度が非常に高い事業となりました。また、普段からひこねで活動する彦根青年会議所メンバーも新たな発見が数多く得られるなど、子どもたち、保護者、彦根青年会議所メンバーそれぞれがひこね愛を高めることが出来た事業であったと確信し、本事業を褒賞申請いたします。

(1,000文字程度)

2023年度 滋賀ブロック協議会 褒賞申請要綱

2023年度 滋賀ブロック協議会 褒賞申請要綱

【2023年度 滋賀ブロック協議会 褒賞制度の目的】

- (1) 本事業を通して各LOMで展開されている事業を県内全LOMに発信し、様々なJC運動の情報を増やすことで、今後の運動展開の規範となるとともに、互いに高め合い、称賛し合うことで、市民意識変革運動に繋げる機会をより多く提供して行くことを目的とします。
- (2) JC運動に貢献したLOMに対し、栄誉を讃えると共に、その素晴らしい運動を県内10LOMに発信することにより、今後の運動展開の参考とし、更なるJC運動の発展に繋げる機会とします。
- (3) 2022年度以降、各LOMではコロナ禍からの脱却を図り様々な対外事業を展開されています。いかなる障害にも屈せずJC運動を持続されてきた根底にある地域の発展への想いと、その事業内容を共有することにより、今後各LOMでの活動に活かす機会とします。
- (4) 各LOMにおいては、申請した事業の精査・検証を通して、その事業の当初の目的を振り返り、その効果や地域での評価を勘案し、今後の方向性や運動展開を模索する機会とします。
- (5) 本年度の滋賀ブロック協議会方針に則り、積極的かつ戦略的に広報展開をされたLOMを讃えることで、今後の県内10LOMのさらなる情報発信に向けての意欲を高める機会とします。
- (6) 会員拡大に対し積極的に取り組んだLOMに対し栄誉を讃えることで、今後の県内10LOMのさらなる会員拡大への意欲を高める機会とします。

【賞の種類】

事業褒賞の部

- ・グランプリ 1LOM
- ・準グランプリ 1LOM

LOM活動推進褒賞の部

- ・会長特別賞 1LOM
- ・最優秀拡大賞 1LOM

■事業褒賞の部詳細

【申請事業対象期間】

2022年1月1日～2023年6月30日

- (1) 申請する事業又はプロジェクトは対象期間中に完了したものを前提とします。
- (2) 継続的な事業又はプロジェクトの場合は、いずれか1つ以上の事業が対象の期間中に行われていることを前提とします。
- (3) 各LOMにて事業報告、決算報告が完了している事業とします。
- (4) 対外向け事業に限ります。

【エントリー事業の制限】

エントリーする事業は各LOM1つとします

【申請受付期間】 2023年 6月 7日（水）事前説明会終了後 ～ 6月30日（金） 24：00

【申請資料送付先】褒賞委員会 委員長 弓削雅外 (mst.products@gmail.com)

【審査の方法】

- (1) 書類審査：2023年 7月 5日（水）～ 7月11日（火）
- (2) 公開審査：2023年 7月20日（木）
- (3) 申請書類規定・期日厳守：減点規定

【採点内容】満点：581点

- 1) 事前書類審査：県内10LOMから審査員10名（自分のLOMは審査なし）／満点24点×9名＝216点
- 2) 公開審査：審査員9名（芳田会長含む）／満点40点×9名＝360点
各LOMメンバー参加者アンケートの所属LOM回答1票につき1点加点。（参加人数得点）
アンケートでの参加人数加点の上限は各LOM5点とします。
アンケートは現地参加者のみご回答頂けます。
- 3) 申請書類規定・期日厳守：減点規定
 - ① 申請提出期限内（2023年6月30日）までに提出できない場合：1日毎10点減点
 - ② 申請書類が規定通りでない提出の場合：1項目毎3点減点
 - ③ 申請書類の再提出の場合は褒賞委員会からの再提出指定期日までに提出をする。
万が一、再提出の期日内に提出できなかった場合は①同様の減点を起用する。
 - ④ 申請書類の確認並びに減点対象評価は事前審査までに褒賞委員会で執り行います。
- 4) 採点内容は以下の8項目に対して行って頂きます。
 - 1 事業に至った背景が地域の課題を適切に捉え、根本にある問題をとらえているか
 - 2 課題に向けて持続可能な解決策だったか、また目的達成の検証は可能か
 - 3 歴史、伝統、文化、自然など独自の地域資源を生かす工夫をしているか
 - 4 多くの外部協力者を巻き込み共に計画を実行しているか
 - 5 目的は達成できているか、持続的な影響・変化に繋がっているか
 - 6 地域への貢献度・影響度の高い事業であったか、予算規模が適切だったか（費用対効果）
 - 7 事業に携わったJCメンバー及び青年会議所に良い影響があったか（成長に繋がったか）
 - 8 事業結果の考察が適切か、改善点・今後の展望が明確になっているか

【書類審査】

- 1) 申請締め切り後、全申請事業をまとめたデータを滋賀ブロック協議会内10LOMの審査員に配信し規定の事前審査基準に基づき3段階評価にて審査して頂きます。
- 2) 書類審査の点数配分については【採点内容】を参照のこと。
- 3) 申請書類は規定の様式のみを使用すること。
- 4) 申請書類の不備、申請書類漏れは減点対象になります。【採点内容】を参照のこと。

【公開審査】

- 1) 公開審査では開会前に抽選にて発表順番を決め、1エントリーに対し8分間の発表 時間および5分間の質疑応答時間、2分間の交代準備時間の合計15分を設けます。
- 2) 公開審査をスムーズに進行するために、褒賞委員会で用意したパソコンを用いてプレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーションで使用できる形式はパワーポイント形式のみとなりますのでご注意ください。
- 3) 審査は審査員に規定の審査基準に基づき5段階評価にて審査して頂きます。
- 4) 審査員の方には審査用紙に総評および特に特化していると思われた事項をご記入頂き褒賞委員会で回収致します。（得点対象とはしません）
- 6) 得点集計は褒賞委員会にて行います。

【最終審査】

- 1) 集計結果に基づいてグランプリ、準グランプリ受賞事業を褒賞委員会が決定致します。
- 2) 同得点による複数の受賞対象事業があった場合は、①減点の有無（提出の遅延、様式書類の不備）②公開審査による得点の順とし、更に決着が付かない場合はブロック会長及び褒賞委員会の協議によって各賞を決定致します。

【審査基準】

滋賀ブロック協議会 2023年度褒賞審査採点表参照

【申請方法】

- 1) 申請書類（指定様式1および2） 指定様式にて申請願います。
- 2) 様式のほか申請事業写真を電子データで提供願います。またプレゼンテーション資料（パワーポイント）に関しても提供願います。

【報告内容】

審査結果内容報告書をまとめ各LOMに配信させていただきます。

【その他】

本年、AWARDS JAPANにおいて各ブロック協議会推薦事業特別賞が新設されました。そこで、滋賀ブロック協議会での褒賞受章事業を、公益社団法人日本青年会議所が行われるAWARDS JAPANに推薦することで近畿地区、そして全国へと発信する機会を作ります。

- 1) 推薦する事業は滋賀ブロック協議会での褒賞事業でグランプリとなり、尚且つAWARD JAPANにおける申請対象期間（2022年09月01日（木）～2023年10月22日（日）までに実施された事業）を満たしている事業を選出します。
グランプリとなった事業が対象期間を満たしていない場合は、対象期間を満たしているものの中で最も点数が高い事業を推薦します。（候補が同得点で複数ある場合は公開審査による得点の順とし、更に決着が付かない場合はブロック会長及び褒賞委員会での協議により決定します）
- 2) 審査結果決定日は1次審査が2023年11月11日（土）、2次審査が2023年11月23日（木）、最終審査は2023年11月30日（木）。最終結果は2024年度の京都会議で発表の予定です。

■LOM活動推進褒賞の部詳細

【会長特別賞】

- 1) 本年度の滋賀ブロック協議会方針に則り、SHIGA⇔JAPAN 顕在力を受信・潜在力を発信できる滋賀の創出の実現に向け、日々SNSやホームページで積極的、かつ戦略的に工夫を凝らしながら広報発信に努めてこられたLOMを芳田会長から選出頂き会長特別賞を授賞します。
- 2) 対象期間は2023年1月1日～2023年7月28日（最終審査会実施日）とします。

【最優秀拡大賞】

- 1) 会員拡大における実績をあげられ、かつ退会者及び除名者の少ないLOMを最優秀拡大賞として表彰いたします。
- 2) 2022年7月の会員会議所会議での報告による正会員人数から2022年度の卒業生を除いた人数【A】と2023年7月の会員会議所会議での報告による正会員数【B】を比較し、増加率が最も高いLOMが表彰の対象となります。

$$\text{※正会員増加率（\%）} = \left(\frac{\text{【B】} - \text{【A】}}{\text{【A】}} \right) \times 100$$

最も高い増加率が同率で複数ある場合、対象の期間における退会者及び除名者の少ない方を優先します。決着がつかない場合は対象の期間における新規入会者が多い方を優先します。それでも決着がつかない場合はブロック会長及び褒賞委員会の協議によって決定致します。

2023年度 滋賀ブロック協議会褒賞事業に関してご不明な点は下記までお問合せ下さい。

公益社団法人日本青年会議所
近畿地区 滋賀ブロック協議会
褒賞委員会 委員長 弓削雅外
TEL：090-8794-5876
E-mail：mst.products@gmail.com